

四季 おりおり Mutsu 2004

2004年 四季折々 Mutsu

2004年 四季折々 思いつくまま

M. Nakanishi Home Page より

<http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

■ [四季折々 Mutsu 神戸便り 2004 のpageへ](#)

■ [神戸で 思いつくまま 2004 の pageへ](#)

2005.1.15.



By Mutsuo Nakanishi

四季折々 Mutsu 2004

■ 四季折々 Mutsu 2004 季節の便り

Mutsu Nakanishi home page「和鉄の道・Iron Road」

Monthly Top Page 1月～12月 季節の便り



From Kobe 2004

1. 神戸 ルミナリエ 2003 写真集 2004. 1. 11.
2. 山はごぶさた 久しぶりに 須磨アルプスに 2003. 12. 17.
3. 鉄のモニュメント 東京六本木ヒルズ (66ビル群) 2004. 1. 8.
4. 「だまし絵」最近の6本木ビル回転ドアやトラック脱輪事故対処に思う 2004. 3. 1.
5. 日本列島 気候激変が繰り広げたドラマ 2004. 4. 30.
関東平野も大阪平野も 6000年前は海や低湿地 そんな昔の海岸線知ってますか・・・
太平洋側の里山傾斜地に咲くカタクリの花 「水河期生き残り」って知ってますか???
6. 三菱自動車欠陥問題について 2004. 7. 1.
何か変と思いませんか
7. 北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」 2004. 9. 5.
8. 大阪縄文塾 小山修三氏と佐藤洋一郎氏の対話 2004. 10. 2.
「縄文の森 火と農耕・森に火をいれる」を聞いて
縄文の森と知恵に スーロライフを重ねて
9. 2004 秋 つれづれに 思うこと 2004. 10. 15.



2004 四季 折々 Mutsu

1.

2004.1 & 2月 New Page From M. Nakanishi

2004.1.11.



神戸ルミナリエ



神戸・淡路大震災震災画

「神戸」尾崎和子作

復興記念聖堂 須磨聖ヨハネ教会

ご無沙汰していますが、いかがでしょうか・・・

新しい年がはじまり、風向きが変わって 半導体など新ビジネスは景気が上向きとか一方 イラク戦争が影を落とし、イランの大地震今年こそは 平和への突破口が開ければ・・・

この時期 神戸では神戸淡路大震災のメモリアルの時一色

1995年1月17日午前5時46分 神戸を中心とした大地震 忘れられない出来事でした

神戸は今年震災後 9年を迎え 街には新しい息吹が芽生えていますが、この時期になると震災のことが 昨日のように思い浮かんできます。

神戸を離れていた後ろめたさを胸に 押しつぶされた家の間を縫って

真っ暗な須磨寺の道をとぼとぼ 自宅へ向かった時のこと本当に昨日のようで、ついつい話します。

12.12. 「神戸ルミナリエ」が始まりましたが、震災で火の消えた真っ暗な神戸の街に「ルミナリエ」の光が灯った時 その明るさ・その美しさにビックリし、なんと光のあることが良い事かと。

本当に「光・ルミナリエ ありがとう」・・・と。



2003.12.15. 神戸 ルミナリエ

あの時の感激は少し薄らぎましたが、いろんな場面を思い出しながら 今年も光の中を歩きました。
神戸の人は皆 同じでしょう。でも 神戸の人にとっては 昨日の出来事 歩いていてもそれがよぎります。



須磨アルプスより 神戸市街地 全景 須磨アルプスより

昔を回顧するのではなく 「今どう生きているか」 つらい犠牲の中で得た連帯とノウハウが今 神戸のあちこちで語られています。この期間中 500 万を超える人出だったと。

神戸の人にとって「ルミナリエ」をスタートにこの時期は新しい年の初めとは別の思いの本当に大事な時となりました。もう あんな光景はみたくないと願いながら イラン戦争 そして イラク大地震 つらい光景がひしめいている。時計が逆周りせぬよう また 小さくても 平和で明るい社会へ 風来坊の気安さを力に 自ら 一歩踏み出さねば・・・と

2004.1.11. M. Nakanishi

先日見た NHK「寅さんにモデルがいた」では 思いもかけず 山口の美祢線 そして 毎朝美祢駅前で萩からの魚を上げるばあさんが映っていました。

うちの家内が今も美祢に行くとかける婆さん。本当に思いもかけずです。

真偽はともかく 寅さんのイメージはこの美祢線だったとか・・・ほんとですか・・・

年に数回になりましたが、美祢も離れがたい故郷

娘のところは札幌 初めて暮す雪の中の生活 戸惑っているようですが元気 流水接岸もまじか ぜひ 見に行ってくださいと思っています。

2月には アメリカに2年いた息子が帰ってくるという。

また 新しい生活を期待しています。

これからが寒さ本番 ご自愛ください。

また 季節の便りなどお送りください。

神戸にて Mutsu Nakanishi

「今月追加した事項 と その概 要 」

何とはなしに あれも これも と言っている間に時間がたって ホームページ 気になりながら 今日になってしまいました

1. 古代史あれこれ ホームページへ

1. 播磨国風土記古代製鉄の一大生産地「讃容の里」Walk
兵庫県西播磨 佐用郡 大撫山製鉄遺跡群を訪ねて 2003.11.14.
2. 炭素 14 の加速器質量分析法(AMS 法)による年代測定法の周辺で
「弥生時代が 500 年遡れる」 国立歴史民俗博物館を訪ねる 2003.12.3.
3. 岩手県の人達が作った長編アニメ映画「アテルイ」に今の時代を重ねて

「弥生時代は 500 年遡り 北九州では紀元前 10 世紀に始まる」と最新の分析技術 加速器質量分析法を用いた C14 年代測定法を武器に発表した国立歴史博物館グループ。

数千年前でも もう数十年前の誤差で年代を正確に計測できるという。仰天である。

埋没林や古代木そして屋久杉など今まだ現存する千年木などを媒介にして 数千年前から現代にいたる個々の年の来歴が連続的に捉えられ、それと最先端の加速器質量分析法による炭素 14 年代分析を組み合わせ 絶対年代が精度良く判るといふ。また、これは 国際的にも相互関係が確立しており、もう絶対年代で相互が比較できるという。長期スパンも短期スパンもきっちりデータが見れる時代になった。そこで問題は判断力。

おりしも 本年 1.6. 付朝日新聞には次のような記事

「稲作と金属器、国家統合の原理というハード、ソフト両面のハイテク」

弥生時代からつづいた 自然支配の文明 右肩上がりの経済・科学・文化が今行き詰まっている。

「世界は縄文文化に回帰せねばならない」と。

また、先日 出かけた川西市の縄文の会で教えてもらった話

「東北のストーンサークル」に対して 北陸には列柱による「」wood サークル」

縄文人が 円・輪にかけた思いが何なのか

そんな中で「播磨風土記」の中でみつけた『讃容（佐用）の里』の項の記事。

『山(鹿庭山)の四面に十二の谷がある。みな鉄を産する。難波の豊前の朝廷に始めて献上した』
さつそく 出かけた 兵庫県の西の端の中国山地 兵庫県佐用町
縄文から弥生へ そして古墳時代「日本誕生」 日本の行き方を変えた「鉄」のインパクト。
益々 古代が面白くなっています。

1. 播磨国風土記古代製鉄の一大生産地「讃容の里」Walk
兵庫県西播磨 佐用郡 大撫山製鉄遺跡群を訪ねて 2003.11.14.



「播磨風土記」の中でみつけた『讃容（佐用）の里』の項の記事。

『山(鹿庭山)の四面に十二の谷がある。みな鉄を産する。 難波の豊前の朝廷に始めて献上した 』

さつそく 出かけた 兵庫県西の端の中国山地 兵庫県佐用町
 巨大な山崎断層が走り、その断層の真っ只中にある佐用町
 そこは日本の原風景を見るような明るい山里。
 もう 遺跡をはっきり見られませんでした、
 四方を幾重にも重なった山々に囲まれた古代の鉄の山里は清流が
 中央を流れ、
 ゆったりと時間が経過する日本の原風景 明るい街でした。



2. 炭素 14 の加速器質量分析法 (AMS 法) による年代測定法の周辺で
 「弥生時代が 500 年遡れる」国立歴史民俗博物館を訪ねる 2003.12.3.



また、歴博の「歴史を探る サイエンス」展には間に会わなかったのですが、12月歴博に出かけ、加速器質量分析法を用いた C14 年代測定法ならびに弥生時代開始年代の諸データをまとめた論文集をもらいましたので、技術屋の端くれ、この歴博書誌のデータを少し整理しました。

いずれ 和鉄も含め、いろんな比較公証がこの方法を武器にやられ、新しい知見が得られるでしょう。

また、世界史に登場することのなかった日本の古代が世界史にも・・・それが 現代の今に生きるかも

朝日新聞に掲載された記事が現実味を帯びてくる。

「稲作と金属器、国家統合の原理というハード、ソフト両面のハイテク」

弥生時代からつづいた自然支配の文明 右肩上がりの経済・科学・文化が 今行き詰まっている。

「世界は縄文文化に回帰せねばならない」と。

3. 岩手県の人達が作った長編アニメ映画「アテルイ」に今の時代を重ねて



岩手県北上市の市民憲章には

「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌
 この大地 燃えたついのち ここは北上」
 と誇らしく歌う

この「鬼」とは 古代「日高見(北上)川」沿いのこの地に住んだ自分たちの祖先 蝦夷の族長 日高見の鬼「アテルイ」とその一族 蝦夷 を指す

気になっていた岩手県の多くの市民が製作に加わり、1昨年完成した長編アニメ「アテルイ」のビデオやっと思い求め見ました。同時にこのアニメの原案となった高橋克彦氏の小説『「火怨」北の燿星アテルイ』も。吉川英治文学賞に輝く大作 凄い迫力。今までの見方とは異なる東北の思いがひしひしと感じられる作品。それだけではないのですが・・・

東北に通って 「和鉄」について歩いているうちに 『日高見(北上)の鬼』と呼ばれる蝦夷の族長「アテルイ」に東北の人達が親しみを込め 熱っぽく語るその人物像ならびに「アテルイ」への強い連帯感にビックリ。

アテルイの生涯と蝦夷の戦いを熱っぽく描いた盛岡在住の高橋克彦の小説「火怨」。

これが 東北人の思いを込めたアニメ映画「アテルイ」の原案。

吉川栄治文学賞を受賞した大著であるが、時代を感じさせない凄い迫力である。

東北人で語られてきた蝦夷観 田村麻呂と蝦夷との交流ほか当時の東北の事情をよく現しているとともに現代を生きる知恵も・・・・・・・・。

今から約 1200 年前 奈良時代の末期から平安時代初期にかけて坂上田村麻呂を征夷大將軍とした蝦夷征伐があった。坂上田村麻呂がでるまで、朝廷が苦しめられ続けた蝦夷の族長が「アテルイ」

この蝦夷征伐のもうひとつの側面は今まで輸入に頼っていた「金やくろがね」がこの蝦夷の支配地でできたことによる鉱物資源の支配。 朝廷の蝦夷征伐の大軍を苦しめぬいた蝦夷の族長がアテルイ。

蝦夷の心情に共感しつつも戦わねばならなかった征夷大將軍坂上田村麻呂

長年にわたる戦争の中で、アテルイは蝦夷の和平を願い、盟友・モレと約500人の兵とともに田村麻呂に降伏。

坂上田村麻呂の「蝦夷支配に活用できる人材」と助命嘆願もむなしく、アテルイは河内国で斬首。

「アテルイは親、兄弟を愛し、美しい自然を愛すために生きた。

21世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」

と東北の人達はメッセージを送る。

今 日本人が忘れかけている人物に出会ったような気がしていました。

ビックリするほど1200年前の構図と同じ鉱物資源を狙った大国支配の構図と弱者支配の眼

現在のイラク戦争の大国主義の構図がそっくりそのまま当てはまるような気がしてなりません。

賛否は別にして 現在の「高速道路公団民営化」の構図も

中央・官僚と地方同じではないか・・・・・・・・等々。

これを機会にちょっと調べていて ビックリ

奥州征伐した坂上田村麻呂が平安京に建てた寺が世界遺産「清水寺」

何度も出かけながら全く知らず。京都人知ってるのかしら・・・と

清水寺背後の東山南端 將軍塚には坂上田村麻呂が眠っている丘を「將軍塚」というのは知っていましたが・・・。

秋田ほか東北には 將軍通りや大將軍の地名も残っています。

でも 蝦夷の族長「アテルイ」の人物像は不明。

これが、小説への意欲を駆り立てるのかも・・・

日本刀の原型となった舞草刀は蝦夷の主武器「蕨手刀」

この奥州の「鉄」を握っていたのは先の時代中央で敗れ、奥州出羽に逃れた物部氏という。

これで 私の頭の中では、秋田・出羽の鉄と北上川・北上産地の鉄が結びついた。

義経伝説が色濃く東北に残るのも先の時代にこんな経緯があるからか・・・・・・・・

アメリカ流の合理的効率主義も破綻。

50.100年のスパンで物を見ると 違ったものが見えてくると・・・・・・・・。 その題材はいくらもあり。

「世界は縄文文化に回帰せねば・・・・・・・・」

「21世紀にはアフリカのあの「おおらかさ」と「エネルギー」に受け継がれていくかも・・・」

2. 久しぶりに 東京で 2003.12.2-5.

1. 鉄のモニュメント

東京六本木ヒルズ (66ビル群) 2003.12.3.



12月の初め東京へ 前記の歴史民俗博物館に行くのと久しぶりに東京の仲間と飲み会。今話題の六本木六丁目六本木ヒルズに出かけました。

溶接材料の仕事に戻ってここ数年追いかけてきた東京新拠点 IT高層ビル群の総仕上げみたいなものです。

ラスベガスのパビリオンビルを訪れて ずっと抱いてきた東京の新拠点高層ビル群に抱いてきた不安の中味がわかりました。外と隔絶した独立の空間。一旦入ったら外へ出さないビル群。

ラスベガスのようにそんな個性を持つビル群が繋がれば それはそれで街になるのでしょうか・・・

折りしも東京の友達からも六本木ヒルズの新しい試み紹介のメール

今後の展開 さて どうなるのか・・・

2. 信州 茅野 八ヶ岳山麓に縄文のビーナスを訪ねて 2003.12.5.

東京の帰りに ゆっくり中央線に出て 車窓から南アルプス 八ヶ岳連峰を見ながら茅野へ

八ヶ岳連峰の山裾に広がる茅野の縄文遺跡群 「尖石」 そこにある城門考古館に展示されている国宝の「縄文のビーナス」を見てきました。

出土した地 茅野を訪れて見るのは初めてですが、ふくよかな体とその肌の色合い 本当にシンプルな土偶ですが、縄文人の願いそのままに暖かさと豊かさがほのぼのと感じられる像。まじかに見れてラッキーでした。

茅野まで 八ヶ岳を眺めながらの山麓 林の中やそれをつなぐ集落を抜けての里歩き 結構距離あるのですが久しぶりに信州の里を歩いたとの気分でした。



3 山はごぶさた 久しぶりに 須磨アルプスに



須磨アルプス 縦走路 中央 横尾山 背後 鷹取山 須磨アルプス 馬の背 2003.12.17.

山へはちょっとご無沙汰 久しぶりに 須磨の山歩く程度。

六甲山全山縦走の西の端 低いですが、須磨アルプス ちゃんと馬の背の岩稜もあって 六甲のようにドライブウェイも家もなし。 まったくの山の中に入り込む。

須磨離宮の所から登り初めて一気に稜線の縦走路 岩尾根・馬の背を通過して妙法寺に下りて約2時間。

縦走路から 元気を取り戻した神戸の街 そして変貌するわが街神戸山麓バイパス界限 そして 明石大橋から神戸空港埋立地を久しぶりに眺めました。



須磨アルプスより わが街 山麓バイパス妙法寺・若草町界限 明石海峡・明石大橋 2003.12.17.

札幌藻岩山を毎日歩く人を見てうらやましく思いましたが、家のすぐ南にもこんな山あり。

家内からは「肥満防止にのぼれ」と急き立てられています。

神戸は今阪神大震災のモニュメント月間 暮れの神戸ルミナリエに出掛けて あの震災の記憶が みんな全く薄らいでいないのにビックリ。

1995.1.17. 今年は神戸にいるので 平和への祈りを重ねて震災の祈りに参加するつもり



須磨アルプスより 神戸市街地 全景





神戸 若草町の丘から 六甲全山縦走路 須磨アルプス 左 嵩取山 右横尾山 2004.2.26.

3月1日 梅便りが各地から聞かれるようになり、随分暖かくなりました。

みなさん いかがお過ごしでしょうか・・・・・・・・

関西では「奈良のお水取り」が終わらないと春が来ない と言われますが、そのお水取りも始まりました。

神戸では 今日 「いかなご」が解禁になり、店頭で「生のいかなご」がならび出しました。

神戸の風物詩「いかなごの釘煮」を煮るあの独特のにおい があちこちの家から漂って、春を感じるスタートです。

今日はスーパーへ行っても 喫茶店には行っても バスの中でも もうこの話で持ちきり。

家それぞれの味と造り方自慢 各地の知り合いに送るための釘煮の量やらどこの店がやすいの・・・などなど 勤めていた時には全く知らなかった街の顔が繰り広げられています。

今日 街でできたのですが、 いかなごの季節 釘煮を作りに来てくれる年に一度会う友達や・・・・・・・・と

最近は一週間ほど前から スーパーに釘煮の七つ道具・材料がレシピ付きで売られるようになり、釘煮をする人が増えて 生いかなごの争奪戦も厳しいとか・・・・・・・・

神戸の街の人たちの顔が生き生きしています。



須磨 網敷天満宮の梅

2004.2.20.



佐用町 大撫山の朝霧

2004.2.11



札幌はまだ雪の中

須磨の天神さんの花が咲くのに誘われて、自宅のランが庭の花に先立って咲き出しました。

ぼくは花音痴で名前も何も知らないのですが、花が咲き出すと家の中がぱっとはなやぎます。

でも、札幌はまだ雪の中のように、孫も元気に初めての雪の生活楽しんでいるようです。

梅が咲き出すと例年 花粉が飛び舞う季節。

私は毎年花粉症に悩まされてきましたが、もう花粉が飛び交っているときなのですが、今年はまだ大丈夫。

皆さんはいかがでしょう

やっぱり 花粉症は自動車の排気ガスと花粉の相乗効果だと思います。

柏では悩まされ続けたのが、うそのようです・・・・・・・・

高知馬路村の生ユズ添加の焼酎の水割り けつこう いけます うまい

「焼酎は健康によい」「二日酔いしない」を信じて 飲み出したのですが、NHK がいうには みんなたいしたことなし。ガックリです。

今は 黒豆の煮汁 血液をサラサラにして しかも 即効。

TVでその素晴らしさみて そこは風来坊。 黒豆 丹波黒を買いに丹波篠山へ・・・・・・・・

有馬・北播磨 田舎に出かけるたびに黒豆を買い込んで 家内と二人 黒豆の煮汁飲んでます。

これで 花粉症も治れば goo なんですが・・・・・・・・

2. 大阪なんばの難波パークス 麺だらけ

今はやりのラーメンのテーマパーク すごい人

東京の丸ビルや六本木ヒルズとちょっと違うのですが・・・・・・・・

その中に 山口川棚温泉の「たかせ 瓦そば」の店あることを見つけました。

明日 大阪なので、 昼はこれ

つけ麺なのですが、焼いた瓦の上に焼いた蕎麦と錦糸玉子と肉そして薬味としてネギとモミジおろし

山口の川棚名物 一度たべたら やみつきになります。

3. 和鉄の道 風来坊



11 月に行った古代産鉄の地 大撫山(佐用町)の朝霧の素晴らしさを聞き、行ってきました。

暖かくて残念ながら 山の間と街を埋め尽くす朝霧はみられませんでした。素晴らしい朝焼けの山の夜明けを見られました。

また、中国山地の山をはさんで東隣の一宮町の平安末期の製鉄遺跡 安積山製鉄遺跡に行ってきました。

雲と畿内の間にある古代から続く大製鉄地帯 北播磨 まだまだ知らぬこと多く、出かけると色々出てきて面白いです。

今 西播磨にはまっています。

また、ホームページ昨年掲載分をそれぞれ

「和鉄の道 2003」

「四季折々思いつくまま 2003」

「風来坊 2003」

にまとめ、acrobat pdf Fileに整理しました。

最近の新聞に加速器 C14 年代測定法の成果について、下記の記事

「最近の加速器 C14 による年代測定の成果は目覚しく、弥生時代の倭国の卑弥呼の時代が、どうも古墳時代の幕開けの時代と重なっている。

そうなるとう卑弥呼も今までの巫女的役割から深く鉄の覇権の中心的存在としての側面が浮かび上がってくる。奈良の古墳群の評価見直しが 今 始まっている」

奈良の鉄屋の仲間が纏向遺跡や箸墓遺跡を訪れ、興味津々と前にメールくれましたが、現実味をおひてきました。

いよいよ、産鉄民の神奈備山 三輪山 と卑弥呼の時代が結びついてくる。

三輪山は山麓に古い製鉄遺跡のある鉄の山 三輪明神 大神神社(おおみわじんじゃ)は三輪山を御神体として、大物主神を祀る。

「山と溪谷」3月号では 神社で許可をもらえば この三輪山の頂上に立てる。その眺望は素晴らしい・・・と掲載。全く意外 知りませんでした、暖くなるのが待ち遠しい。

そろそろ 年金が気になっています。 サラリーマン生活から新しい生活に入る仲間も増えてきました。先日 三宮で大学の仲間と久しぶりに飲んで カラオケ行って 騒ぎました。声出すことすくなくなっていて スツとしました。 みな意気軒昂でも なにわともあれ 健康第一 ご留意ください。

今月もまた 勝手な雑文 お許しください。 至って元気に風来坊やっています。3月は北海道 流氷が見られれば・・・と思っています。 暖くなれば ここも あそこも・・・です。時間はたっぷりあるし 動く手段も手にいれたし。。。。。手伝う事 騒ぐ事 遊ぶ事 いつでも 声かけてください。

2004.3.1. 神戸にて M. Nakanishi

ホームページ 改訂

今月 ホームページは 兵庫西播磨の和鉄についてまとめました。また、 県立歴史博物館で中国山地のたたら製鉄と砂鉄を含む花崗岩地帯の分布や江戸時代 隆盛をきわめた西播磨のたたら製鉄により、山が崩され 川に流れ込む土砂が海岸で赤穂塩田を発達させた事などおもしろい話を聞きましたので、それらをまとめました。

「今月追加した事項の概要」

1. 「和鉄の道・Iron Road」 口絵

【1】たたら製鉄原料 砂鉄 と もうひとつの製鉄原料(餅鉄・高師小僧&鬼板)

2004.1.18. 兵庫県立歴史博物館で兵庫県立人と自然の博物館 先山徹氏 「赤穂に塩田を作り出した播磨北部のたたら製鉄」のセミナーがあった。古代からの有数の製鉄地帯である北播磨 千種・揖保川水系のたたら製鉄を中心に たたら製鉄とその原料となる鉄を供給した岩石の分布そして、たたら製鉄が自然環境や文化に与えた影響についての判りやすいセミナーであった。たたら製鉄の中心原料である砂鉄 その砂鉄を含む花崗岩分布の存在 そしてこの砂鉄を含む花崗岩を崩し砂鉄を得る鉄穴流しによる地形の変化など明快な話を聞くことが出来ました。



また、 山砂鉄の採取による山崩しが流域に与えた影響の凄さ 数値や地形変化で抑えて講義してもらおうと本当にその凄さに改めてビックリ。中国山地の砂鉄地帯の分布と砂鉄を含む実際の花崗岩などが同時に判りやすいパネルで展示され、非常に参考になったので、紹介する。また、東北北上山の製鉄原料 餅鉄 そして 豊橋でみた「高師小僧・鬼鉄」など濁鉄鉱についても採録しました。



高師小僧

豊橋市田高師台 高師台中学男辺で 2003. 11. 12.

支橋の泉 渥美半島の根っこ 葦が一面に広がる高師ヶ原

今 この台地では、雨上がり表面の土が流されると
 多数の小僧が顔をのぞかせる

葦の根に吸い寄せられた鉄分が長い時間をかけて
 根の周りに付着析出して棒状に成長する。
 それが今顔をのぞかせ、「高師小僧」と呼ばれる。

高師小僧と豊橋市街の南 渥美半島の付け根に広がる高師が原台地

豊橋市の海岸に近い台地 高師が原では 今も雨の後 表面の土が流されると
 「高師小僧」と呼ばれる無数の小さな棒状の鉄の塊が
 顔を出し、立ち並んでいる・・・という

また、東海・信州地方では
 この「高師小僧」を砂鉄に替わる製鉄原料とした
 「たたら製鉄」が古来より存在したのではないかと・・・という

2 蝦夷の鉄 「和鉄の道・Iron Road」より



2004. 1. 18

By Mutsuo Nakanishi

Home Page 「和鉄の道 Iron Road」に掲載した東北地方「和鉄探訪」9編を「蝦夷の鉄」としてまとめました。

東北が好きで 関東での単身赴任の気安さから 幾度となく訪ねた東北の和鉄。神戸に帰ったのを機会に、今までホームページに掲載した記事9編を集めてみました。

出かけた場所場所 それぞれに思いがあり、出かけた時には知らなかった事を後で色々思い巡らしています。

また 阿倍比羅夫・坂上田村麻呂の蝦夷征伐としてしか知らなかったことの中に数多くのドラマがあり、それが 平泉の藤原三代の栄華に続いてゆく。また 中世以降に各地で隆盛を極める刀鍛冶 そのルーツに舞草・出羽など東北の鍛冶がいるという。

出雲の鉄 畿内の鉄とはまた違った東北の鉄 今各地で地域学が盛んになり、日本の歴史も違った視点で見直されている。

そんな中で 東北が育んだ文化の中に 蝦夷の鉄・東北の和鉄が大きな役割を演じているようだ。

1. 岩手県の人達が作った長編アニメ映画「アテルイ」に今の時代を重ねて	和鉄の道Ⅱ	15.
2. 7世紀 畿内王権の蝦夷征伐の兵器庫 「行方製鉄遺跡」を訪ねる	和鉄の道Ⅰ	4.
3. 岩手県北上川流域の和鉄 一関博物館へ 蝦夷の主要武器「釵手刀」・日本刀のルーツ「舞草刀」を訪ねて	和鉄の道Ⅱ	8.
4. 心残りだった東北 和鉄のふるさと walk 北上江釣子・砂鉄川・蔵王 「あの高嶺 鬼住む語り・・・ 北上市市民憲章 」と歌う	和鉄の道Ⅲ	8.
5. 『田舎なれども南部の国は 西も東も金の山』 岩手県・南部「蝦夷の鉄」 北上山 系大楯・釜石	和鉄の道Ⅱ	2.
6. 古代 出羽国 秋田 和鉄の道を訪ねて 北上川流域の陸奥から奥羽山脈越 出羽・秋田そして津軽十三廣へ 奥羽山脈越えの和鉄の道は蝦夷の生命線	和鉄の道Ⅲ	5.
7. 奥州 蝦夷の心臓部を貫く和鉄の道 -北上(和賢)仙人峠越- 東北 鉄の山 気にかかっていた「和鉄のさと」を歩いて-	和鉄の道Ⅲ	6.
8. 「弘前ねぶた」と岩木山北山麓「鬼伝説の里」 「鬼穴・鬼神社」・「十壁内・蔵鬼神社	和鉄の道Ⅰ	8.
9. 岩木山北山麓の製鉄遺跡群と鬼伝説	和鉄の道Ⅰ	6.

3. 播磨風土記の和鉄【2】

御方里周辺 (宍粟郡一ノ宮町安積) 安積山製鉄遺跡(平安時代末期の製鉄遺跡) 探訪 2004.2.11.

一番寒い時が過ぎ、やっと暖かくなりだした2.12.早朝 兵庫県の西端 西播磨北部の佐用町大撫山に素晴らしい朝霧が出ると聞いて、家内と二人出かけました。「讃容の里 大撫山」は「四面十二の谷皆鉄を産する」と播磨風土記に産鉄の記事があり、昨年11月に訪れた所である。

残念ながら 山・街全体が雲海の中といった光景には出会えませんでした。日出とともに朝霧の中に浮かぶ山々に朝日が輝く素晴らしい大撫山の朝を楽しめました。また、大撫山など佐用の山々を挟んで東側の揖保川が流れる一宮町一帯は古代には「御方里」と呼ばれたもうひとつの産鉄地。

次は揖保川水系の製鉄遺跡を訪れたいと計画していた所のひとつ。

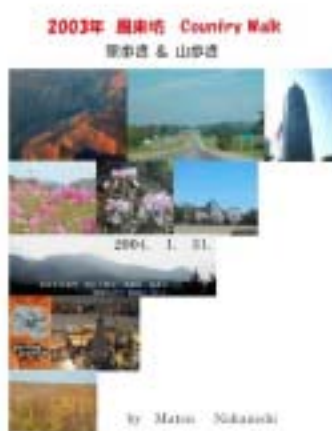
一宮町安積の街道筋の際の小高い丘にあり、このあたりで最も古く最大の製鉄遺跡である平安時代末期の安積山製鉄遺跡を訪ねてきました。

今は周りの山肌に沿って鉄分を含む赤茶けた水が流れ込む湿地に灌木や雑草が埋め尽くしているが、谷に沿って幾段かになった地形と山肌の赤いベンガラ色が本当に印象的な製鉄遺跡でした。

4. home page 『和鉄の道 Iron Road』 2003 版

「和鉄の道・Iron Road」 たたら製鉄遺跡探訪 (2003)
四季折々 M u t s u (四季折々 関東・神戸で 思いつくまま)2003
Country Walk 風来坊(山歩き・里歩き) 2003

2003年 1年間の間に掲載してきた記事を上記のごとく、pdf版でそれぞれ一冊にまとめました



index.htm 2004.3.1. by M.Nakanishi

3.

2004.4月 New Page From M. Nakanishi 2004.4.5.



神戸須磨区 妙法寺川 満開の桜並木 2004.4.2.



春爛漫 我が家の庭も華やかになりました 2004.4.1.



春風を受けてゆれる「かたくりの花」
兵庫県三日月町 2004.3.28

4月 桜の便り 暖かかったり急に寒くなったりで、桜はこれから
とっている間に神戸も満開になりました。

すっかり春の真っ只中。 暖かくなって 家の周りも色々な花が咲
いて華やかです。

神戸ではつい先日まで、春恒例の「いかなご」のくぎ煮の便りに乗
せてお互いの元気を確かめ合ったものですが、あっという間に花で
一杯。 風来坊やるにはもってこいの時節になりました。

会社では新しい年度が始まり、新しい任務につく人達の異動の挨拶
状を幾通かもらっています。

若い仲間からは「何か新しい夢が実現しそうに思います」の便り。
リストラ激動の不透明な時代 厳しいですが、現状を打ち破って新
しい仕事に向って 突き進んでほしい。 エールを送ります。

ぼくには縁が遠くなりましたが、やっぱり新年度きりっとします。
先月メールで健康第一と心配してくれた仲間 ほんのこの間と

思っていたら 脳梗塞にたおれたと聞き、心配していま
す。まもなく 手術と効きましたが、はやく復帰される
こと願っています。 長島さんもそうだし、よく耳にする
ようになりました。どうか みなさんも無理せず 健康
にご留意を.....

先日 カタクリを見に行った時に見た播磨の三日月町本
郷にある久森氏宅の日本一の棕の木 樹齢約800年
樹高18.5メートル 樹の胴回り9.9メートル
日本一の棕の木の古木。

そのどっしりした威容と発散されてくるエネルギーに圧
倒されました。

巨樹の風格には応援歌をもらったようで 元気がでます。



樹齢 800年の巨樹 棕の木「三日月の大ムク」
兵庫県三日月町 本郷 2004.3.28.

TVで黒豆の効用を見てせっせと朝晩飲んでます。

兵庫は豆の山地。丹波や播磨の田舎へ黒豆買いに

せっせと出かけています。田舎へ出かけられるのでそれもよしです。

ぼくには まだ効用の兆しなし。もっとも 体操して 体重へらすのが先・・・・・・・・といわれています。

でも 黒豆の煮汁は効くらしいです。家内など黒豆の仲間を次々と増やしています。

健康第一 お互いの元気な便りが聞けるのが一番です。

「だまし絵」 最近の6本木ビル回転ドアやトラック脱輪事故対処に思う

最近の痛ましい事故 トラックの脱輪事故 そして 6本木ビルの回転ドア そして 鳥インフルエンザ

「同じ類例あった。兆候あった。会社は隠した。」と毎度お決まりの責任追及と責任のなすりあい。

いつものパターン繰り返し。マスコミなど正義感よろしく無責任な責任追及の急先鋒。

でも、これどこか おかしい。

処置・責任と同時に「その場 その場で正しい行動を行う」行動パターンを生む行動様式の醸成なくしては この問題その場しのぎ解決しない。そんな思いを「ブツブツブツ」書きました。

2004.4.1. 神戸にて Mutsu Nakanishi

ホームページ 改訂

ホームページ下記3件を掲載しました。

1. 網走 流水 探訪 アルバム 2004.3.7.
2. 鉄のやま「三輪山」と その山麓を縫う山辺の道 2004.3.23.
古代 初期大和政権(三輪王権)が王城の地に求めた産鉄の地
3. 春風にそよぐ「かたくりの花」に出会えました 2004.3.28.
兵庫県三日月町 弦谷 かたくり自生地で

「今月追加した事項 の 概要」

1. 網走 流水 探訪 アルバム 2004.3.7.

3月の初旬 念願の北海道 網走の流水を見にいきました。

3月に念願かなって 家内と二人、北海道「網走の流水」探勝に行って来ました。

都合でツアーに入らず、札幌から夜行日帰りで流水船「オーロラ」号に乗って南極の気分。

ツアーに入っていない気楽さから 能取岬から流水で埋め尽くされた海を見て、オホーツクの海岸で流水の上にも乗ってきました。氷に閉ざされた港 初めてみました。

また、旭川から北見・網走へ 夜汽車の月明かりを通して見る町 雪に家がでなくて街が埋まっていました。これも初めて。

雪の中の生活 想像もつきませんが すごい・・・・・・・・と。

オホーツクの海を埋め尽くす流水。 氷で閉ざされた海 海も町も閉ざされる冬



「海があく」 春を待ち焦がれる気持ち少し判った気分です。

「流水とけて ハマナス 咲いて・・・」の宗谷岬の歌 オホーツクに接する釧網線北浜駅で知床まで埋め
尽くされた氷海原を見ながらくちずさんでいました。 やっぱり じかに見るとすごいです。

2. 鉄のやま「三輪山」と その山麓を縫う山辺の道

古代 初期大和政権(三輪王権)が王城の地に求めた産鉄の地



「和鉄の道 三輪山」

関西に帰ったら、一番に行こうと思っていた大和・桜井の三輪山 登拝願い出せば登れるのを知って 飛んでい
きました。 古代の産鉄関連の地 日本で一番古い大神神社のご神体 神奈備山

本当にその痕跡が見つかるか不安でしたが、登拝路には 以前東北狛鼻溪でみたキラキラ金色に輝く雲母と黒い砂
鉄がちりばめられ、三輪山は疑いもなく鉄の山。 また、三輪山山麓は古代日本誕生にかかわる王城の地でもある。

卑弥呼の墓といわれる纏向古墳が三輪山麓とは思ってもよらず・・・

卑弥呼も鉄を求めてこの地で国づくりをやったのか・・・

また、桜井(三輪)の街中であって 街を見下ろす大神神社の大鳥居 耐候性鋼板で出来た現代の鉄のモニュメント
耐用年数 1300 年と銘板にあり。

産鉄のこの地であって 次の 1000 年 何を見るのか・・・

3. 春風にそよぐ「かたくりの花」に出会えました

兵庫県三日月町 弦谷 かたくり自生地で 2004.3.28.



「春風にそよぐ。カタクリの花」

昨年時期を逸して見られなかった片栗の花。

桜の花が咲いたと聞いていてもたってもいられず、カタクリの自生地へ

西播磨三日月町の山間の山の傾斜地に咲きほこるカタクリ

花を精一杯 春風に向けて からだを揺らすカタクリの花に顔を寄せ 一緒に春の風を感じてきました。



新緑の森 大阪府 近つ飛鳥 葉室古墳群の森で

兵庫県 播磨中央公園で 桜の花びらを飛ばして



北摂 武田尾 大峰山麓と武庫川 山は桜と新緑の萌える季節 2004.4.12.

「風光る」5月 新緑の素晴らしい季節 野山が一番生命力にあふれています
草木萌える野山で 芽吹きの中にとると落ち着く そんな生命力の素晴らしさを感じます

4.11. イースタ「復活日」 イースタのメッセージは
戦乱の中 抹殺の論理がまかり 通り勝・敗者 立場の逆転に 動転する日々
平和の願いを込めて「生かす」から「生かされている」を考えよう
「いのち」を今ほど考えねばならぬ時はなし

2004. 4. 11. 神戸聖ヨハネ教会で

「自爆にしか未来をかけられぬ世代」を生み出した世に責任はないか 和解の知恵は なきや???
昔々、縄文の人たちは「争い」を知らず、森と海の恵みを得て、「環」の中で生活
それが 日本人の奥底にある「和」のルーツという
あまりにもひどい自己流の論理・連鎖が「和」の論理へ代わるように後押ししたい
ときには、そんなことも思いながら Country walk を楽しんでいます

2004.5.1. by Mutsu Nakanishi

「神の眼・Eye of God」

ホームページのトップ 4.11. 「イースター」について、最近の動きをどう書こうか ????

審判では 有りませんが、「神の召すがままに・・・」「天の神が見ている・・・」などと言葉をめぐらしている矢先に、友人がNASAの友達の転送で「神の眼・Eye of God」の写真送ってくれました。

まあ、不思議な気がしてお裾分け。



"Eye of God" Helix 星雲 10 May 2003



Kitt Peak 国立天文台



宇宙空間にある NASA's ハッブル望遠鏡

This image was NASA's "Astronomy Picture of the Day" for 10 May 2003.
The picture's "Eye of God" appellation appears to have been a title coined by an admirer of the photo due to the nebula's resemblance to a human eye, not something designated by NASA.

宇宙に打ち上げられたハッブル望遠鏡とアリゾナ ツーソン近傍の Kitt Peak 天文台の観察からの写真でまるで人の目のように見えることから、「神の眼」と名づけられたという。

「星の彼方に何がある」など長い事考えた事なし。でも、一度は是非みたいものです。

また、僕の仲間がアリゾナ砂漠の大都会 フェニックスにはじめて行った時「猿の惑星」といいましたが、考えてみれば、アリゾナ砂漠のこっちからも眼をひからしているのですよね・・・

某天文学者に聞くと宇宙空間にあるハッブル望遠鏡では 空気がないので揺らぎがなく、分解能があがり、地上では見えないものも見え、地球からの解像度より、10倍以上あがると・・・

日本のスバル望遠鏡では ここまで見えぬと この鮮やかな写真もその成果だとか・・・

ホームページの更新



ミツバ ツツジ 大峰山



山桜と芽吹き 大峰山



桜 桜の園

「風ひかる」が本当に実感できるような淡い緑に包まれた野山 素晴らしい時候になりました。
野山へ出かけるには 絶好の季節です 大型連休が始まり、いかがお過ごしでしょうか・・・
あいもかわりませんが、5月のホームページ送ります。

4月の初め、縄文の会の人たちと北陸・能登の「縄文のウッドサークル 環状巨大木柱列」を訪ねるツアー
北陸・能登にも三内丸山遺跡にも素晴らしい縄文の木の文化が花咲いていました。
そのシンボルがウッドサークル 復元ですが、その中にいると自然に静かな落ち着いた気分になりました。
世界三代文明の時代 日本には「木の文化・森の文化」が開く。
日本のルーツを探る旅 北陸 越の国の役割 いまさらながら感じました。

また、春爛漫の桜 今年は僕のホームグラウンド 武庫川の奥武田尾を訪ねました。
巨木の枝垂桜に驚嘆した時もありましたが、芽吹きの一山一杯に咲く桜の色模様 やっぱ、自然の中の桜が一番
久しぶりに訪れた武田尾 子供の頃を思い出しながら 山に囲まれた武庫川沿いの廃線跡をゆったりした気分で歩
きました。都会の本当に近くで 今も自然が残る里山にビックリ。

縄文の遺跡・そして大和の成り立ちに大きな影響を与えた古代の大阪河内湖周辺をしらべていて、「縄文の海進」や
古代の日本列島の海岸線を調べていて、日本の気候の激変をもたらした数々のドラマにビックリ。
初めて知ったことなどちょっと書いてみました。
またまた 時間オーバーであまり整理できていませんが お送りします。
新緑の五月 大いに戸外で楽しもうと思っています。
今 卑弥呼の時代と和鉄の関係が多くの人によって語られ出しました。
「鉄は国家なり」まさしくそんな気がして 和鉄の道を Walk しようと思っています。
日本誕生 ヤマトの成立と直接かかわった北近江から福井の和鉄 そして 近畿河内の和鉄を訪ねようと思ってい
ます。また だんだん判って来た たたら以前に倭鍛冶が育んだ褐鉄鉱・鬼板ベースの野たたらと出雲・伊吹・信
州 訪ねれば訪ねるほど奥深い鉄 やっぱり、2000年の歴史です。
雑文できっちり考証できていないですが、ヒマな折にでもお読みください。
アウトドアー 旅は大好き。 こじつけても何でも 出かけます。また お誘いください。

2004.5.1. 神戸にて

Mutsu Nakanishi



自宅の庭で 今は撫子とつつじとスイトピーそしてエンドウ豆が実をつけ 豆ご飯にしました 2004.5.1.

「今月追加した事項 の 概 要」

1. 北摂の山 大峰山へ 桜とツツジを訪ねて
2. 北陸に点在する縄文のウッドサークル探訪
3. 日本列島 気候激変が繰り広げたドラマ



北陸・能登に咲いた縄文の森の文化 現在に通じる「物づくり」の技術も既にありました

1. 北摂の山 大峰山へ 桜とツツジを訪ねて 2004.4.12.

武田尾 武庫川沿いに旧福知山線廃線跡から桜の園・大峰山へ



北摂 武田尾 大峰山とその麓を流れる武庫川 2004.4.12.

4.12.「水上勉「桜守」のモデル笹部桜博士の桜の演習林が旧福知山線の廃線をふくめて宝塚市のハイキングコースとして整備され開放され、その桜が素晴らしい。」と書いたガイドなどふっと思い出し、思い立って、家内と二人 武田尾・武庫川沿いの旧福知山線廃線跡を通過、大峰山の山の斜面に広がる「桜の園」から北摂の大峰山へハイキング。

山は芽吹き・新緑の季節 山裾では山の斜面に淡い緑と桜の花が重なり、また、山道には「ミツバツツジ」が桃色の花をつけて山の匂いプンプン の気持ちの良いハイク。 笹部博士の「桜の園」素晴らしい桜でした。桜はしだれの巨樹の素晴らしさに眼を奪われた事もありましたが、芽吹きの新緑の山中で織り成す桜の素晴らしさに見とれました。

山の匂いを一番感じる good な時 里山のよさを満喫して帰りました。



笹部桜博士の旧桜演習林 「桜の園」 2004.4.12.

また、武田尾・生瀬は阪神間では昔子供の頃 遠足などで一度や二度訪れ、武庫川の川原で遊んだ事があるところ。
 また、夏にはキャンプ・水泳にと 私も子供の時に何度となく行きました。
 川沿いに福知山線の汽車がもくもく 煙をあげて・・・が 僕の記憶に残っています。
 かつて 山中の生瀬・名塩周辺はすっかり住宅地になっています。
 宝塚の橋の所のウイルキンソン炭酸水工場のところから生瀬へ歩いて 淵の所で川原に降りて泳いで・・・といっ
 ても全く信用してもらえません。
 でも、武田尾は交通の便から取り残された事もあって、川が流れる全く静かな山里。自然がそのまま残っています。



旧福知山線 廃線跡 ハイク 武田尾 -「桜の園」 2004.4.12.

ぶらぶらと新緑と桜に見とれ、廃線跡歩きを楽しんで そして、ここは古くからのひなびた隠れ宿の温泉に入っ
 て・・・。 こんな近い所が そのまま取り残されて・・・が実感。でも、自然満喫するには本当に Goo
 車でいけて 車が通らず、しかも自然満喫の場所なんて そうそうなし。 かつて、京都の北山・鯖街道がそうで
 したが・・・
 電車で行けば、武田尾の駅から直ぐ歩き出して 自然の真っ只中 桜はもうだめでしょうが、新緑はお奨めです。

2. 北陸に点在する縄文のウッドサークル探訪 2004.4.7&8.

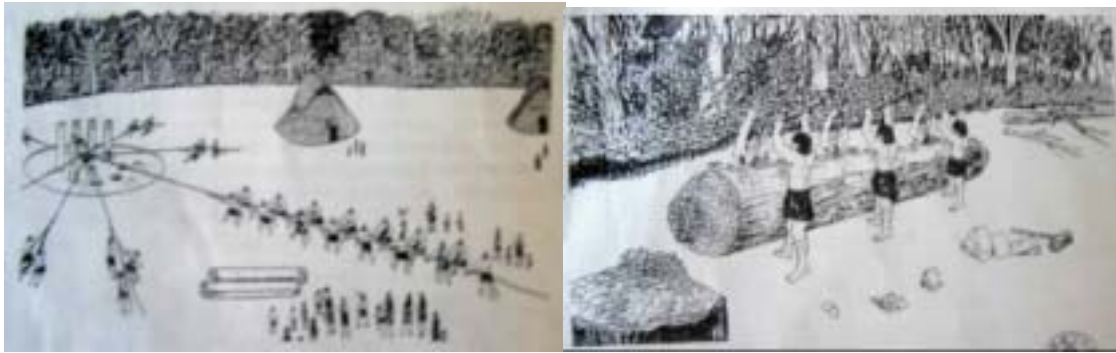
日本 木の文化のルーツ 金沢チカモリ遺跡・能登 真脇遺跡・富山県桜町遺跡

4月7.8日 兼ねて聞いていた縄文のウッドサークル・環状木柱列を見学のため、縄文の会ツアーに参加して北陸・能登へ。
 ウッドサークル・環状木柱列が出た3つの遺跡 金沢 チカモリ遺跡・能登半島能都町 真脇遺跡・富山県小矢部市 桜町遺跡の遺跡を1泊2日で訪ねました。

縄文時代というと縄文土器・漆と云われますが、既に大型のコンストラクション技術を含め、現代に通じる「物づくり」の技術がそろっている事知ってなおビックリです。

北東北の青森や秋田の森の中にストーン サークルが現れた同じ頃今から約3000年前 北陸・能登の海岸段丘の村に栗の巨木を半割りに加工した10本ほどの柱を約10m径の環状にならべ建てた木柱列があつた。その環状の柱根跡が出てきたという。





規模は小さいが石柱が立並ぶ神殿イメージか・・・

森の広場にまっすぐ巨大柱が林立する姿をイメージするだけで楽しい。

かつて、未開の時代とされていた日本の縄文時代。

青森三内丸山遺跡が発掘され、世界の3大文明(黄河・エジプト・メソポタミア)が花開くと時をおなじくして、これらに匹敵する「木の文化・森の文化」・日本の木の文化」のルーツがこの日本で花咲いていた。

日本人の心には深く縄文の「和・環」の精神が根ざしているという。

また、縄文のウッドサークルの出土した桜町遺跡には同時にそれよりもさらに古い 5000 年前に縄文の巨木を加工した建築用材が大量に出土し、縄文時代に既に現在に通じる高度な建築組立技術の存在を明らかにした遺跡である。

接合屋のにとっては 日本のコンストラクションのルーツ 法隆寺に起源を持つと思っていた巨大木柱加工の組立技術が縄文時代に遡れるとは全く知らず

縄文時代に既にこんな技術が日本に・・・と



なぜ 北陸に・・・そんな縄文を塗り替える素晴らしい遺跡が・・・? と不思議に思いましたが、考えてみれば、北陸は古くからの大陸との交流の窓 日本海沿岸につながる縄文の交流があってもおかしくない。

東にヒスイの糸魚川 南東に信州 縄文の郷 諏訪と黒曜石の和田峠 そして 西に畿内へと抜ける琵琶湖。

僕が知らなかっただけ。北陸は縄文時代にも文化の先進地であったこと北陸に行って知りました。

「和鉄の道」に 「日本 木の文化のルーツ 北陸に点在する縄文のウッドサークル探訪」として まとめました。

3. 日本列島 気候激変が繰り広げたドラマ

2004.4.30.

関東平野も大阪平野も 6000 年前は海や低湿地 そんな昔の海岸線知ってますか・・・

太平洋側の里山傾斜地に咲くカタクリの花 「氷河期の生き残り」って知ってますか???

地球はかつて何度となく寒冷化と温暖化を繰り返して、日本アルプスにカールとして氷河の跡が残されています。でも、ヨーロッパのように日本列島全体が氷河に覆われ、すべての生物が絶滅すると言ったような事はなく、寒冷の時代でも夏には緑があふれ、花が咲き、多くの生物が日本列島にやってきたといわれています。

約6千年前の縄文前・中期の時代 日本列島では温暖化はピークとなり、氷河が溶ける事による海面の上昇はピークとなり、海岸沿いには深い入り江が形成され、そこへ激しい降雨によって陸から大量の砂が運ばれ平野・砂州・河口湖が形成され、現在の日本列島がほぼ形成されたという。

この 6000 年前 縄文時代 大阪の中心も東京も海の中 それから長い時間をかけて川などで大量の砂が海岸に運ばれ、自然に陸地になったという。

そんな まだ 海が眼前に広がり、砂州いっぱいのお阪・東京を見ていた人がいたなど信じられず。でも 本当。



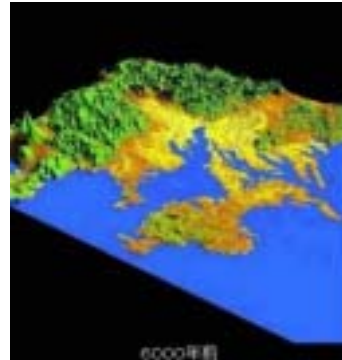
6000 年前 河内湖が広がっていた河内平野から大阪を望む 近つ飛鳥 葉室より



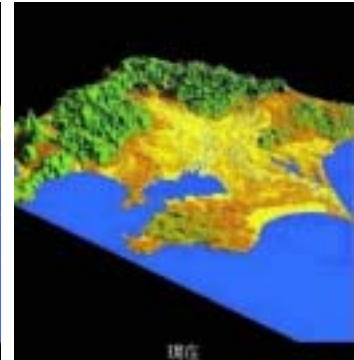
大阪 6000 年前



大阪 現在



関東 6000 年前



関東 現在

また、カタクリの花はもともと北東北の日本海側の花 それが氷河の時代に温暖な南の低地に避難。それがまた、温暖な時期暑すぎても、北へ帰れずに夏涼しい山や丘陵地の北斜面の地下水が流れている所で生き長らえてきたと。風を切るカタクリの花に見せられるのもそんなひたむきな姿か・・・

平安時代は暑くて 暑くて・・・このため疫病が流行って 怨霊が

家はそのため、スケスケだった。?????
江戸時代は 逆に寒くて このため、江戸は火事が多くて・・・飢饉もたびたび

日本列島の気候の激変が引き起こした数々のドラマ 縄文の海進を調べていて知りました。本当に今僕らが知っているのは瞬間の出来事のみとつくづく思います。

また 地球環境の温暖化が叫ばれていますが、6,7000 年前にそれに対処した人達が居た。ここになにか ヒントがないだろうか・・・





長門白須鉄山の製鉄作業図



播磨一宮 三方旧公文村 文政元年山絵図



神戸須磨離宮公園で 6.11.



滋賀県草津 水生植物園で 6.12.

梅雨の晴れ間 夏の花が咲き出しました

紫陽花・花菖蒲・睡蓮そして 昨年間違って手折ってしまった紫のアサリナも我が家の壁を飾っています。

また、「キャッツウイスキー」って知っていますか 白いひげをピンと張って 純白の可憐な姿

ジューン ブライト 梅雨時を彩る純白の花 紫陽花や睡蓮・花菖蒲とは違った魅力

また、東京へ出た帰りに信州戸隠山で久しぶりに森林浴

戸隠の鋸歯の切り立った岩峰の下にはブナと杉の素晴らしい森が広がっていました。



アサリナ
自宅の庭で 6.11.



キャッツウイスキー
須磨離宮公園で 6.11.



花菖蒲
須磨離宮公園 6.11.

まもなく梅雨明け 梅雨明けが待ち遠しいですが、じめじめとうつとおしい毎日です。

6月の更新サボって 2ヶ月ぶりのご挨拶 元気におすごしの事と思います。

6月には珍しい台風が神戸の上を通り抜け、強い風が吹きましたが、たいしたこともなくなりました。

私の方は 5月末から11日間ほどイタリアの街を訪ねるツアに参加 ミラノ・ヴェネチア・フィレンツェ・アッシジ・ローマの街を訪ねてきました。

キリスト教と教会漬けの旅でしたが、勝手気ままなツアー 本本当に楽しい旅。

勤めている時は時差ボケも一日やそこらで直るのですが、風来坊やっていると中々元に戻らず、イタリアボケも手伝って写真の整理などで一ヶ月過ぎて、やつと普通の生活にもどりました。

また、先日 東京・柏へでかけ、会社の仲間と久しぶりに会社や技術の話 忘れかけていた事がふっと昔に戻ってビックリ。 帰りに、朝一番の新幹線で長野へ出て、のんびり戸隠山山麓で森林浴。 原生林の中に入って、せせらぎと小鳥の声聞きながらのトレッキング。 命の洗濯でした。



信州 戸隠山の自然の中で森林浴

2ヶ月ぶりのホームページ改訂。あれもやってみよう。これもと・・・

色々考えるのですが、中々進まず、ペース落ちてます。

イタリアへ行って、デジカメでビデオが撮れる事知って聖堂とはこんな音響効果がほどこされているのか・・・とビックリするほど素晴らしいこだまする響きを撮って着ました。

そんなんで、下記の信州戸隠 森の声やイタリア ピサ 教会の響き の小ビデオを作りました。

開けるのに 少し時間かかりますが、お許しを。

今月はイタリアで撮った写真 pdf file A4 版で整理してましたので、そのまま掲載しました。

イタリアの旅行写真なんて いやほどあると思いますが・・・

また、播磨の鉄 頭に残っていた兵庫県一ノ宮町「御方の里」へ 車の運転練習兼ねて 山道走破 雑ですが、・・・

最後に 気になるのは 同じ現場技術屋の 三菱自動車の欠陥対応

つつい 昔 自分たちが通った道 考えて・・・ 三菱の仲間 どうか 頑張っ 乗り切っほしい

またまだ、天候不順 早く 梅雨が開けるといいですね。

健康にご留意ください。

2004.7.1. 神戸にて Mutsu Nakanishi

三菱自動車欠陥問題について

この6月 1ヶ月 三菱自動車の欠陥車問題がセンセーショナルにパッシングが続いています。なにか おかしいと感じています。

品質問題について 行政監督官庁も他の自動車メーカーもみんな 手のひらを返したようなパッシング。

同じ事が三菱社内の技術現場でもおきているのだろう。

でも、毎度の事ながら パッシングしている他のメーカーも 行政監督官庁もする事一杯あると思うのですが・・・。

また なぜ ISO の品質システム 一番クレーム対応に敏感なこのシステムが動かないのか・・・

また 認証・QA は ??????

業界・国土交通省パッシングするばかりで、マスコミも含め、なせ原因と結果についてクリアな説明がされないのか・・・・・・・・

パッシングではなく、当事者側ではないのか・・・・・・・・

車の安全・品質という課題において 日本の村社会の典型 エスケープゴートを作って ほかを隠す。

パッシングをしている強気の発言も裏返すとその裏にはたくさんの隠された問題があるとかんぐらざるを得ない。

トップメーカーはなぜ業界として助けの手を差し伸べないのか・・・・ 官庁とも技術も一番近い所にいるのに・・・・

パッシングは強烈であるが、問題解明については何か 歯切れが悪い。

次々と三菱の欠陥が個別にほじくられている。

本当に三菱の車に限られた車の問題だけなのだろうか・・・・・・・・

もっと本質的な大型トラック全体にかかわるのではないか・・・・・・・・

トラックというと直ぐ頭に浮かぶのは過積載の問題が浮かぶ。

何とか 三菱の車を場外にほりだし、沈静化させることをねらっているのか・・・・・・・・

毎度繰り返される後手後手の官民一体となつての弱者切捨てのご都合主義の手法

メジャー・体制側と少数派の戦いのような気がして、三菱を応援したくもなる。

もっとも 三菱にも本件が抜き差しならなくなるまで メジャー・体制側の論理の中で生きてきたと思いますが。

「品質・安全問題の取組を見れば 会社の姿勢が見える」と良く言ってきましたが、中味の議論と指導性のない口先だけの「安全第一」「品質重視」「顧客満足」

一番本質的中身・具体的な対応が生かされねばならぬ時代に リストラの進行で素人経営 掛け声だけになっているのでは・・・・ 指導者層の理念のなさ・貧困が本当に目につく時代となりました。

昔私が経験した同じような欠陥問題 某海外メーカーの妥協無き対応と徹底した指導。日本的対応とあまりにも差のある凄い対処。日本で品質・ユーザー対応の話の聞くといつも思い出します。

社内も含め四面楚歌の中 解決は妥協無きルーツ原因とその対策そして徹底した防止対策のチェック。

その厳しさと理念・思想の強さにほんとうに泣きましたが、この指導性には何度も助けられると共に、日本メーカーの社内の考え方弱さが いつも頭にありました。

現場で働く三菱の技術仲間に 「周りにとらわれず、頑張れ 個別処理と共に本質問題を早くつぶせ」とついついエールを送りたくなる。

現場主義の大事さ 本当にその中味を今生かさないと日本の物づくりも つぶされてしまう。



イタリア ルネッサンスで訪ねたフィレンツェで ルネッサンスを引っ張ったレオナルド・ダ・ヴィンチ。

絵画に建築にそして彼の発明・発見の多さ いずれもその一級の巨人ぶり。

その根底に徹底した科学的眼と現場体験実証主義の生き様 現代に 通ずる事を知りました。

「知恵は経験の娘。

ただ 想像だけによって 自然と人間との間の通訳者たらんと欲した芸術家連を信じるな」

「自然の不可思議の通訳者は経験である。
自然は原因をもって始まり、実験をもって終わるが、
我々はその反対をとらねばならない。
我々は実験をもって始まり、
実験をもって 原因を探求しなければならない。
そこから、経験と相談しつつ、一般規則を引き出せる」

----- レオナルド・ダ・ヴィンチ



先日 家内とふたりでアメリカ映画「パッション」を見ました。
キリストが密告により訴えられ、十字架にかかる一日を聖書の記述に基づいて制作されたという。
もう スタートから終わりまで、キリストひとりが身体的危害を受け続ける。アメリカで賛否喧嘩諍闘だった映画。
どちらか言うと最近日本映画のやさしい映画しか見ない僕にはきつい。行こうという家内に教えたのですが、結局見ました。
もう 本当に 耐えられるか・・・とおもっていましたが、迫力の中 息呑むのも忘れてみました。
耐え続けながら語るキリストの言葉のみがラテン語で字幕
本当にしんどくて街で休憩して帰りましたが、なにかさわやかな気持ち自分がいるのを感じて我ながらビックリでした。
三菱の技術現場 耐えて 頑張ってください

2004.7.1. Mutsu Nakanishi

今月追加した New Page の概要

1. エンジョイ イタリア 古い街を訪ねて 2004.5.10.-20.



花の都 フィレンツェ 2004.5.16.



水上の町ベニスで 2004.5.12.

月末から 11 日間ほどイタリアの街を訪ねるツアーに参加 ミラノ・ヴェネチア・フィレンツェ・アッシジ・ローマの街を訪ねてきました。キリスト教と教会漬けの旅でしたが、勝手気ままなツアー 本当に楽しい旅。
やっぱり みんなが言うように フィレンツェの街 ビックリする美しさでした。
また のどかな丘陵地の丘の上にある宗教都市・聖サンフランシスコの町「アッシジ」も素晴らしかったです。
また、知らなかったミケランジェロ レオナルド・ダ・ヴィンチ ラファエロ ガリレオなどフィレンツェでの接点と意外な側面も。
30 年前 初めての出張でひとりローマに 1 週間に居たことがあるのですが、その時、現地の人に連れて行ってもらった下町のレストラン 30 年前貰ったカード片手に家内と探し当て訪ねました。
同じカードが今も使われていて マスターや街の人やちょうどアメリカ人のぐるーぱの人たちと一緒に歌って盛り上がり帰りました。
ぼくらのツアーコンダクターが言っていました、

イタリアの街何年経っても変わらない。

親が自分の行った場所を子供に伝えて そして孫に。

みんな 何十年の時を経て、同じ場所に立って同じ写真が撮れ、

感激してそれを次の世代に伝える。

イタリアはそんな素晴らしい街

ほんとうにそんな感じです。

お陰で写真ばかり撮ってかえたので その整理に3週間もかかって、その間何にもてずかすで・・・

恥ずかしいのですが、そんな写真整理しましたので、1,2ヶ月くらいhome pageに掲載します。

まだちょっとイタリアかぶれが、のこっているかも・・・



アッシジ 2004.5.16.

イタリアの街角で 知らないのは僕だけかも・・・



びっしり詰まった縦列駐車

ローマの街で



電車・車・三輪車・バス・自転車平面通行

ミラノで

其の1 知らないのは僕だけかも知れませんが イタリア ミラノについたら 目と鼻がおかしい。花粉症の症状。

恐る恐る聞くとイタリアは花粉症 大有りと。乗ったバスの運転手氏も花粉症で涙だしていました。

ミラノの町は ちょうど ポプラの綿が飛ぶ季節。

風花のように 白い綿毛が 街の空を飛び交っていました。

ついでに 日本に「黄砂」があるように イタリアでは「サハラ」の砂が飛んでくると

車がすすけているのもそれだというのですが、国民性かも・・・

其の二 イタリアの町に並ぶギシギシ隙間の無い縦列駐車。どないして 車だすねんと・・・

「今日 車出すのに 友達のベンツにちょっと挨拶したら 凄く怒られた。

バンパーは何の為にあるのか・・・と言うのですがね」という御仁が神戸の友達にいて

「そんなあほな・・・」といていましたが、イタリア あちこちで、僕の見てる前で前後の車に挨拶して広げて縦列駐車から離れてゆきました。ゴリツパ となにか 感激

其の三 イタリアの古い街 フィレンツェも ミラノも ローマも 城壁の中の旧市街地 車規制もそうですが、まったく新しいデザインも高いビルもなし。一戸建ての家もなし。
高層ビルのオフィス街も派手なビルもなし。みんな昔のビルに埋もれて・・・
昔から 大きな高い建物は教会のキョボラと鐘楼。 それより大きいのが変わった建物建てるつぶっ壊されたという。そんな 都市国家 ホテルだけでなく 宮殿までもが・・・
生活は外から見ると大変らしい。「電子レンジでチンする」といった文化なし。クーラーも洗濯機もまならぬ。テレビと一緒にみんなつけたらヒューズ飛んでしまうそうである。
電化生活したかったら郊外へというのだそうだ。
でも みんな 街に住みたがる。「街が好きだから 街を愛しているから」だそうだ。

其の四 そういえば 大きな工場も無く、高速道路はあるが、物流が頻繁とも思えない。
経済本当にまわっているのか。。。と
でも 生活厳しいようですが、みんな陽気で楽しそう。
昔みたいに 公園で寝てる人 見かけない。
「みんな 先考えず 今を楽しんでいるからや みんな 今 楽しんでいる」という。
不思議である。
よくよく聞くと 大企業はそれこそフィアットグループ程度でそれもダウン。95%が中小地域企業。
若くしてみんなその町で働く。大学出は15%程度。1/3は中学出ると直ぐ街で働くと。
それほど街を出ないし、通勤族など考えられないという。
これで僕の疑問も解消。
都市間交通 物流も地域で動けばよい。中央のオカミもいらぬ。わが街を愛すである。
大多数の人たちにとっては、都市国家が今も生きている ちょつと 考えさせられました。

日本でも 今スローライフが叫ばれ、価値観が変わりつつありますが、価値観がこんなに生活変えているとはビックリでした。

2. 信州 戸隠山の自然の中で森林浴 2004.6.19.



信州 戸隠山山麓 森林植物園周辺で

2004.6.19.

梅雨の合間 久しぶりに東京・柏の仲間と会ってきました。
帰りに、朝一番の新幹線に飛び乗って長野へ
信州の仲間が昔 戸隠の絵を書き、山麓から急にゴツゴツの
絶壁の山がそびえているのが印象に残っていて、一度是非にと・・・
また、戸隠は昔からの修験道の山。鉄の痕跡があるかも・・・
ちょっと水芭蕉には遅すぎるのですが、緑の静かな湿原・森も素晴
らしいと聞いていたので、朝一番の新幹線飛び乗りです。
長野からバスで1時間ちょっと不意に 絶壁のゴツゴツした壁とそ
の向こうに 真っ白な山々。このゴツゴツの風景 これだこれだと。

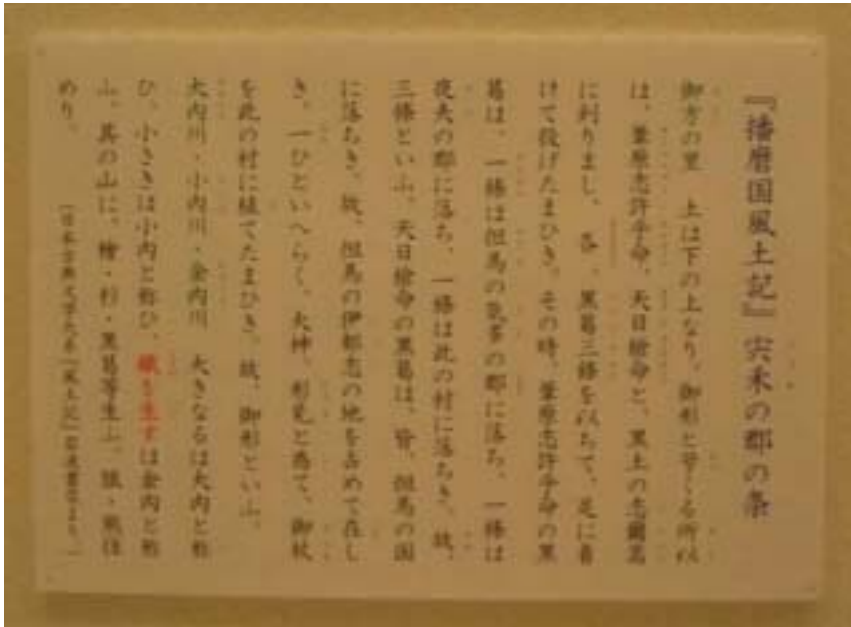


戸隠山とその背後の白馬など後立山連峰でした。

きっちりとした装備していなかったのが、戸隠の縦走は出来ませんでした。戸隠の原生林の森に入って一日森林浴。若緑一色の森に入るとほっとします。

また、戸隠奥社の森には樹齢600年以上の杉の並木道が残っていました。これだけ大きいとやっぱりすごいです。小鳥の声と湿原の水のせせらぎ聞きながらゆつたりと・・・

2. 播磨風土記にある鉄の里「御方里」 一宮町「三方」を訪ねて 2004.6.3



一宮町 三方 御形神社



播磨風土記 御方の里 一宮町 三方



家屋遺跡公園 2004.6.5.

4月に「播磨風土記に記載のある産鉄地」として揖保川流域の「御方里」・一宮町として平安末期の製鉄遺跡「安積山製鉄遺跡」を紹介しました。

その安積山製鉄遺跡のところ揖保川が左右 引原川と三方川にわかれ、その右側上流にあたる三方・公文川流域が播磨風土記記載の「御形」現在の一宮町「三方」にあたり「御方里」の中心地。

そこには、三つに分流した公文川が流れ、播磨風土記にある大内・小内・金内川と考えられてきた。

これら公文川流域にも古くからのたたら製鉄の痕跡が残っている。

この「三方」は山深い里でありながら、家屋遺跡では縄文・弥生時代とつづき、中世には寝殿造りの立派な屋敷があり、この地がこの地方の中心地 山越え東西に千種・美作と生野 川沿いに南北 但馬と播磨の和鉄の道があったのではない・・・

この地に出かけたいと思いながら、交通の便悪く中々いけませんでしたが、やっと行ってきました。



「ひまわりの夏」 暑中お見舞い申し上げます

2004.8.5. by Mutsu Nakanishi



北海道 名勝 知原文ひまわり園



暑中お見舞い申し上げます。

昨年とは打って変わって本当に暑い暑い夏 毎日朝早くからせみがうるさいほどですが、台風と厚さが交互の天候不順な夏 いかがお過ごしでしょうか。。。。健康にご留意ください

7月の末から約1週間 札幌の娘宅を拠点に花の北海道を満喫して神戸に帰ったところです。

「向日葵の夏」 今年はずまきが遅れて咲くのは当分先とあきらめていましたが、北海道で丘一面に咲く素晴らしい向日葵を見ることができました。

2004. 8. 5. 神戸にて

M. Nakanishi



2004.7.27. 北海道 美瑛の丘で

北海道から帰った3日の夕方、自宅のある神戸須磨の空に二重の虹

また、4日の夕方 急に台風が夜四国から兵庫を襲うという。今年の夏 既に3回目。

大きな被害なく、何よりでした。

でも、各地で大雨や風の被害が各地で出て、何かおかしい今年の夏です。



2004.6.3. 夕 神戸 須磨の空にかかった2重の虹

7月 あれこれ 神戸で

地球温暖化

都市での猛暑の原因のひとつに巨大な高層ビル群の無作為な建設 並びにパソコン社会の進行が大きいといわれています。東京では 巨大な高層ビル群が街を吹き抜ける浜風をシャットアウトして、熱い空気のよどみを作り、クーラーと共に IT 家電の進行はパソコンの常時接続を促してビル群ばかりでなく、家々からも大量の熱が放出し始めているという。

一方 ビルが立並ぶ大阪御堂筋はほかの都市のビル街より、2,3 度温度が低いという。街路樹はあるが特に緑があるわけなし。。。。。

理由は広い街路が南北に貫いていて、風が吹き抜ける事 また 街路が南北なので 街路の片側が常に影になって アスファルト道路の灼熱が緩和されている事などによるという。

前月訪れたイタリアの市街地の生活 高速道路を追い出したサンフランシスコのように 日本でも地球の温暖化対応 都市での暮らし方を十分考えねばならぬ時代になったようです。

まあ いろいろ 小さな知恵にも 耳をかたむけねばならぬ時代 最大公約数的発想では たちゆかぬ時代を感じてます。

国際ウェルディング ショウ

大阪で 2 年に 1 回大阪で開催される国際ウェルディング ショウが 7.14-17.開催され、久しぶりに溶接技術を見に出かけました。少し明るくなったとはいえ 不況の厳しい業種 でも行ってビックリ 展示されている発想が大きく様変わりです。

溶接技術といえば 製造業の大きな生産手段 今までは大型の生産ライン用の装置が会社の実力を示すかのようにならんでいましたが、今回はコンパクトな小さい多機能の個別機器がほとんど。

大量生産・大量消費では生きてゆけない知恵の対応の時代に入ったことまざまざと見ました。

また、アジアの小さな企業 日本の中小企業がたくさん出展し、大企業も中小企業も同じ土俵で戦う時代になりました。

日本の大企業は中小の企業の技術を飲み込んで大きくなった時代もありましたが、国際化の時代 自前の技術なしでは勝負にならない時代。 その技術も観念的な机上の技術でなく 地道に培われた実践技術の集積のみが勝ち残ってゆく。大企業・マスイフェクトでは生き残れない。 企業人も変わらねば。。。。。

産学官共同・先端技術・ユニーク技術 言葉は氾濫していますが、ほかを充てにした仲良しクラブを廃し、何がオンリーワンなのか もう一度問い直さねば やられてしまう気がしています。

古代の大工道具を見て

7 月 27 日 神戸竹中道具館で「古代・中世の大工道具」についてのシンポ

6 世紀既に鋸が伝来しているのに、材木から縦に板を切りだすノコの普及は 15 世紀であると。。。。。

その理由は 栗など広葉樹である古代建築用の大木は、楔を入れて割ることで、能率よく板状加工が可能と。ところが その後の寒冷化がもたらした建築材の変化が、楔での材木加工を困難にし、ノコ引きを必要としたという。

そういえば、古代人が使った栗の大木 今はほとんど日本には無く、あの三内丸山縄文遺跡の 6 本柱の復元にはロシアの森から運んだという。縄文人が栽培していた栗の実の大きさは今の 3 倍以上の大きさだったという。時代時代に即した知恵 それを研ぎ澄ますこと 「必要は発明の母」

虚学というか頭万能の虚像が益々幅を利かす時代にあっても 人の手による実学・実践なしには社会は成り立たぬ事 其処にビジネスのチャンスも。。。。。。。

黄金の国 新羅 6世紀の素晴らしい金細工に精巧な金細工



7月21日 奈良国立博物館で「黄金の国 新羅展」が開催されているのを知って国立博物館に出かけました。

日本の漆 接合・工芸技術が木の文化の代表とするとこの鉄の国としか知らなかった新羅には金属工芸の文化が花開いていました。

すごいですね 6世紀 金の冠・装身具の精巧な装飾の数々 精巧な金の装飾工芸に銀ロー付けが駆使。ビックリでした。

千年の歴史を持つ新羅は4世紀半ば古代王権国家を作り上げ、6世紀半ばに産鉄国 伽耶 7世紀半ばに百済・高句麗を滅ぼし、半島統一を成し遂げる。洛東江東岸の産鉄国であり、後には半島の鉄を支配し、日本の骨格作りに大きな影響を与えた新羅。

日本では大和政権が政権を確立してゆく時代であり、鉄の入手をめぐる半島諸国との交流が大和政権の最大課題であつたと思っている。

新羅の巨大化による鉄原料入手の困難性が鉄材料の自給を促し、渡来系氏族を含め、数々の政争を生み、日本の骨格が作られていった。

いまだに日本での製鉄生産の起源が良く判つておらず、新羅には強く惹かれています。

新羅千年の都「慶州」の街にある印象的な王家の古墳群にも引かれ、是非行ってみたいくなっています。

帰りに 生駒山の西の端 河内にあって、大和政権の鍛冶工房 製鉄も始めていたのではないかとされる大県遺跡(柏原市大県)にも寄って資料も貰ってきました。 次月まとめます。



生駒山 右端が河内柏原市 大県地区



大和川と大県地区(右上)

磁石石を山口県須佐に訪ねる

7月初めに山口を訪ねて山口県北東部のたたら製鉄地帯を久しぶりに訪ねました。

今もコンパスの磁針を狂わす山があると聞いてうずうずしていたのですが、やつと訪ねました。

中国山地を貫く白山火山帯に沿って 深成岩の帯がたたら製鉄地帯に深くかかわり、磁石石もその中で起きる現象 萩焼 田中講平先生の工房も訪ね 萩焼の新しい魅力発見

ちょっと長くなりましたが、この山口のWalk をまとめて 今月のホームページに掲載しました。

また、7月の末から約一週間 花の北海道「花の浮島 礼文島」や「美瑛・富良野の丘」を訪ねました。

帰ったところで整理していませんが、写真アルバム作りました。

本当に不順な天候 予想だにできない時代を象徴しているのかも。。。。。

何事にも無理せず ゆっくりと。。。。です。

健康にご留意ください

また ヒマな折にでも メール ください。

西アフリカ カメルーンの村に綺麗な水を・・・

昨年 「西アフリカおはなし村」に来てくれた 西アフリカ カメルーンの人たちとの交流のひとつとして「地球 お話村」の人たちと水不足の村々に井戸を贈る活動を支援しようとしています。

次月 きっちり お話しますが、また 募金活動などご協力ください。

2004.8.5. 神戸にて

M. Nakanishi

今月のホームページ 概要

1. 磁石石つて 知っていますか。。。 「山口県須佐 高山」に磁石石を訪ねて
「和鉄の道・Iron Road」 たたら遺跡探訪 磁石石と白須たたら遺跡を訪ねて
2. 山口県 角島 浜木綿の花が咲く浜と角島大橋
3. 萩焼 陶房葉月 田中講平先生の作品と花とのコラボレーション
4. 花の北海道 礼文島・富良野 美瑛・天塩 アルバム

1. 磁石石つて 知っていますか。。。 「山口県須佐 高山」に磁石石を訪ねて

「和鉄の道・Iron Road」 たたら遺跡探訪 磁石石と白須たたら遺跡を訪ねて 2004.7.2.

島根県境に近い山口県須佐町の海岸「神山」には「磁石石」があって、沖の日本海沿いに航行する船の羅針盤が狂う。そんな場所がほかにも日本に数箇所在る」という。



「そんな あほな・・・」と思いましたが、地図を広げると、日本海側 山口県東部の海岸「山口県須佐町神山」の地名のところに「天然記念物 磁石石」の印。

この地は「須佐」の名前が示すとおり、「スサノオ」伝説が残る地で、背後の山口県北東部の中国山地は点々と製鉄遺跡が残る産鉄の地。何度となく歩いた地である。

また、 何度か たたら遺跡の「たたら炉」の絵図を見て気になっていた「白須たたら製鉄遺跡」もこの周辺であること最近知って、自分の記憶にある以前通った奥深い山中の遺跡と思いながら しっかり覚えていない地。

今度行く時には 是非確かめようと・・・・・・・・

7.2. 山口県美祢の家の草抜きを兼ねて久しぶりに山口へ

うずうずしていましたが、やっと磁石石を須佐に訪ねて、白須たたら遺跡にも行ってきました。

山口県北東部 幕末 長州の武器を支えたたたら製鉄地帯 久しぶりの訪問。ちょっとは知識も増えていて あちこち車で走り回り回ってきました。

「沖を通る船の磁石が狂う」というのは 多少 オーバーですが、神山に登って 周辺の岩石に磁石を近づけると磁針が狂いました。

これ、ミステリーのトリックに使いそう。

この神山の下の海岸が「ホルンフェルス」 地球のマグマが上がってきて 地層を高熱にさらして、素晴らしい地層模様を作り出した地

大地を使った接合の熱影響部 そんな眼でホルンフェルスを見るのも初めて 久しぶりに山口のたたら製鉄地帯を満喫してきました。



2. 山口県 角島 浜木綿の花が咲く浜と角島大橋 2004.7.4.



7.4. 西長門海岸 角島へ

日本海に面した白い砂浜では ちょうど 浜木綿の白い花が満開 全く 知らずに出かけたのですが、ビックリ 浜木綿という暖かい海岸に咲くのですが、この角島の浜木綿が北限の浜木綿という。

海流が流れるのが見える素晴らしい海岸に橋がかかって 俗化するのは・・・と心配していましたが、素晴らしい景色がそのまま健在で満足でした。

3. 萩焼 陶房葉月 田中講平先生の作品と花とのコラボレーション



7.5. 萩焼の田中講平先生の工房葉月を山口市吉敷に訪ねて、「鬼板」顔料のことなどをお聞きした。

また、いつもながら 気楽に田中先生の作品見せてもらったのですが、

今回は先生の作品に花を活けて展示された「萩焼の花器と花のコラボレーション」の写真。

実用の美というか 萩焼というとその作品を愛でるのが主と聞いていたのですが、花が活けられると表情が出て、

新しい萩焼の美しさを見つけました。

気取らぬ田中講平先生の作品の良さが一層引き立って あまりの表情の変化にビックリ
見せていただいた写真を元に御紹介します。

3. 花の北海道 礼文島・富良野 美瑛・天塩 アルバム



礼文島から利尻富士



霧の中 礼文島のお花畑で

7.26. - 8.3. 札幌の娘一家を訪ねると共に夏 花の北海道 満喫してきました。

宗谷海峡から利尻・礼文は霧に包まれ、海と利尻富士と花の組み合わせは見られませんでした。念願の「花の浮島 礼文島」霧の中のトレールを歩き、霧の崖に咲く礼文ウスユキソウや伊吹トラノオ 礼文ノコギリソウなど満足でした。

また、北海道の道の駅 スタンプ帳を持って みんなスタンプラリーに興じている。

道の駅が開くのを待つ光景にはビックリ。北海道の道の駅 僕の知っている道の駅と違って楽しみも多くみんなが楽しめる面白いパーク さすが観光地 北海道 新しい観光見たように思います。

北海道 道の駅 全部で100ヶ所足らず。

娘一家もはまっていて 一緒に一日 天塩・宗谷 まわりましたが、後は網走地区回れば完成と。。。。

また きっちりまとめますが、まずはトレトレの写真のみです



美瑛 ラベンダー



宗谷 サロベツ原野



台風一過 酷暑の暑さがうそのよう せみの鳴き声もピッタリやんで すっかり秋に向かって走っているようです。それにしても すごい風の台風 久しぶりに家が揺れる台風にビックリでした。

各地で被害が出ていますが、いかがだったでしょうか・・・

台風が兵庫県の日本海沖を通過している時 密閉されたスナックの袋 パンパンに膨らんで台風襲来実感。飛行機で膨らむのは知っていましたが、台風で膨らんだのは初めて見ました。

上の写真 家内が犬の人形作り 年に一回の同窓会の土産にすると準備にせっせと精出しています
今月は「北海道の写真ばかりでなにもないなあ・・・」というこの子犬たち貸したげると並べてくれた次第です。
子犬の人形「ああでもない こうでもない」といらっていると なんか「天天開開」そんな感じして。。。。

「天天開開」 クヨクヨしないで「毎日、心を開いて朗らかに」

金属を志した大学の仲間と神戸で皆酔会この皆酔会に出られなかった仲間がメールで贈ってくれた言葉です。

みんな還暦すぎましたが 元気いっぱい「年金とタイガースは禁句にしよう」といいながらつつい・・・
話題尽きることなくで、帰りに積みあがった酒びんみてビックリ。

みんな 益々ええ顔になって 元気な仲間見るとこっちも元氣もらえて。。。

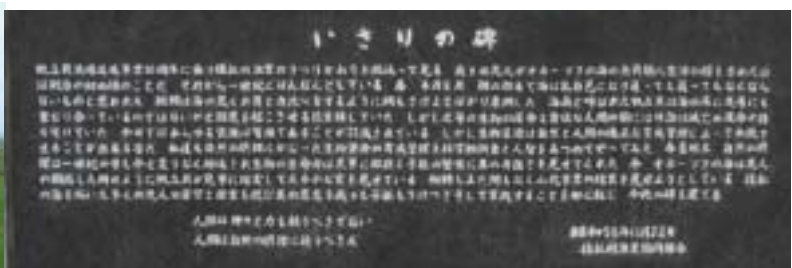
今年の夏は北海道にいて あとは「オリンピック」夜中まで テレビで見て・・・

これも若い人のインタビューの明るい声に ほんと 時代変わったと感じています。

2004.9.5. 神戸にて

Mutsu Nakanishi

北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」



北海道 花の美しさもさることながら、この夏 宗谷 猿払村で見た「海の開拓宣言」の格調の高さには感激。

「2004 夏 花の北海道 WALK」にも入れましたが、

理念の重要性とその理念に基づく実践の確かさにビックリし、金融・政治・工業界において 今「口先」だけの対応が横行する中 プロの対応とは何かを見せられたような気がしましたので、ちょっと御紹介します。

ちょうど 私たちと同じ世代の生き様のひとつ どう 感じられるでしょうか・・・・・・

北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」



北海道 宗谷 猿払村 道の駅「さるふつ」にある帆立貝の化石と「いさりの碑」
我々の先人はオホーツクの海の魚介類に生活の糧を求めたのは明治の初めのことだ。
それから一世紀になんなんとしている。

春 4月5月 鯨の群来で海は乳白色になり獲っても獲ってもなくなると思われた。
鮭鱒は海の荒くれ男と力比べをするように網もさけよとばかり来網した
海扇と呼ばれた帆立貝は海の底に幾層にも重なり合っているのではないかと錯覚を起こさせる位生棲していた。

しかし之等の生命の運命も貪欲な人間の前には所詮は滅亡の運命が待ち受けていた。
今日ではあらゆる資源は有限であることが認識されている。

しかし 生物資源は自然と人間の適正な育成管理によって永続させることができる筈だ。
私たちも自然の摂理にかなった生物資源の育成管理を科学的に調査と陣地をあつめてや
つてみた。

春夏秋冬 自然の摂理は一世紀の昔も今と変わりなく繰り返され生物のの生命力は見事に
部族と氏族の反映に其の力強さを見せてくれた

今 オホーツクの海は先人の開拓した時のように帆立貝が見事に結実してたわわな実を
みせている 鮭鱒もまたまもなくふ化事業の結実を見せようとしている
猿払の海を拓いた多くの先人の苦勞と偉業をしのび其の石を我々も子孫もうけつぎそし
て実践することを肝に銘じ 今此の碑を立てる

人間は神々と力をきそうべきでない人間は自然の摂理にしたがうべきだ

昭和 56 年 11 月 22 日

1981.11.22.

猿払村漁業協同組合

注 1980 年代は高度成長の真っ只中 1986 年から 1989 年 4 年間はバブル時代

1980 年代の日本は、世界でも有数の工業国として空前の豊かな社会を実現しました。

鉄鋼、家電製品、自動車やエレクトロニクスといった分野の輸出が大幅に伸び、日米で経済摩擦が起きるほどの貿易黒字をこの時代には計上しています。

昭和が終わった 1989 年を例にとると、この年の貿易黒字は 640 億ドル、国民総生産(GNP)も約 420 兆円と初の 400 兆円台に到達。1980 年の 290 兆円から 10 年間で 130 兆円も増えています。

一方では、地球規模でさまざまな環境問題が深刻化し、中でも地球温暖化問題については 1980 年代後半から議論が開始され、1990 年代から世界各国が協力して取り組むようになりました。

何も対策をしないと深刻なダメージを受けるおそれが現実化し始めた時代。

しかし、日本の世相は 1986 年から 1989 年 4 年間はバブル時代と呼ばれる日本が狂った時代でした。
20 世紀の大量生産、大量消費の時代から、21 世紀は地球環境優先への転換の時代 まだ世の中が浮かれている時代に 最北の北海道でこんな格調高い地球環境優先・共生の理念と実践が進んだ。
現在も「日本一の帆立貝の猿払」として栽培漁業の先端に立っている。

金融・政治・工業界において 今「口先」だけの知能優先 実践・実学軽視の対応が横行する中 プロの対応とは何かを見せられた気がしています。
当時は自分も新しい事業開発に向かって必死であった時代
それがバブルだったのか 地道な発展だったのか・・・悩むところです

2004.8.1. 北海道 宗谷 猿払で
M. Nakanishi

西アフリカ 北部カメルーン・ペツテ村 井戸掘り募金に協力を

ついでながら、昨年 民博「西アフリカ おはなし村」をやった仲間たちが「地球おはなし村」を立ち上げ、西アフリカ 北部カメルーンのフルベ族の「ペツテ村」に井戸を作る会の運動をはじめました。
私も協力参加しています。
水の少ない地でしかも人口爆発により、益々環境が悪化し、子供たちが苦しんでいます。
フルベの民話を通じて知りあったそんな西アフリカの村に枯れることのない深い井戸を掘って贈ろうという運動です。

今月のホームページ 概要

1. 北河内 古代の大鉄のコンビナート 大泉製鉄遺跡 探訪
2. 2004 夏 花の北海道 walk 礼文島・美瑛の丘・天塩/宗谷 アルバム
3. 北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」

1. 北河内 古代の大鉄のコンビナート 大泉製鉄遺跡 探訪

「鉄の 5・6 世紀」古代 大和政権の日本統一を支えたの大規模専門鍛冶工房



気になっていた大阪府柏原市 生駒山の南端 大和川が大和から河内に流れ込む口の位置にある「大泉製鉄遺跡探訪」記をまとめました。

「鉄の 5・6 世紀」といわれ、日本で飛躍的に実用鉄器が用いられ、初期大和政権が日本統一に踏み出して行った時。
北河内でこの大和政権を支えた鉄の代生産基地 専門の鍛冶工房 それが大泉製鉄遺跡。
実証されているたたら製鉄が始まったこの時期 爆発的な鉄の製造には

それ以前からたたら製鉄につながる前たたら製鉄が在ったのではないか?????

また それと呼応するのが朝鮮半島諸国をも巻き込む大和王家・豪族の政争 出雲神話を初めとする製鉄伝承。

畿内の中心にあって 150 年の長きにわたって鉄の一大生産基地であった大泉遺跡がそんな日本誕生のペールを解き明かすかもしれないと思える walk でした。

今は住宅の中にうずもれていましたが、大泉製鉄遺跡の発掘調査報告「大泉の鉄」も入手でき、その結果も含め、日本誕生・日本のたたら製鉄の誕生にロマンをかきたてています。

2. 2004 夏 花の北海道 walk 礼文島・美瑛の丘・天塩/宗谷 アルバム



美瑛の丘



花の浮島 礼文島



サロベツ原野 2004.7.31.

7月の末に行った北海道 花の礼文・ラベンダーの美瑛の丘・初めていった天塩・宗谷について 「2004 夏 花の北海道 WALK」として まとめました。

1. 「花の浮島 礼文島」 2. 「ラベンダーの美瑛の丘」 3. 「宗谷・天塩の原野」
の素晴らしい花 WALK すばらしい北海道夏の花 満載です。

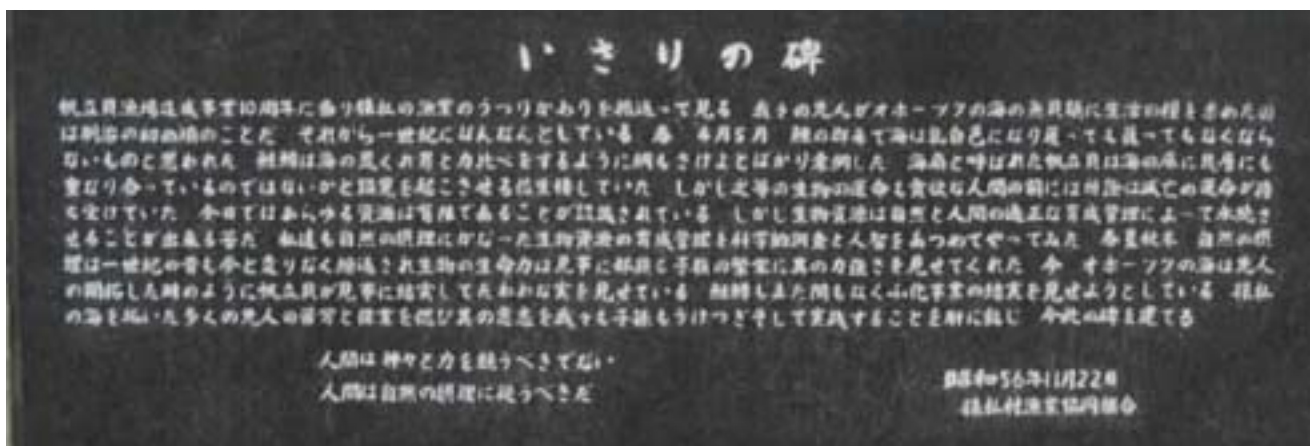
3. 北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」



この夏 宗谷 猿払村で見た「海の開拓宣言」の格調の高さには感激。

ちょうど 私たちと同じ世代の生き様のひとつ どう 感じられるでしょうか・・・

今「口先」だけの対応が横行する中 プロの対応とは何かを見せられたような気がしましたので、ちょっと御紹介集録しました。





「先大津阿川山砂鉄洗取之図」より

次から次へと台風襲来 あっという間に秋が深まってしまいました。

神戸では9月7日の台風18号の猛烈な風で南側に面する木々が塩害でやられて、枯葉になって、銀杏も落ちて一気に秋の景色へ。

各地で被害が出ていますが、いかがでしたでしょうか・・・

私のところは「特に被害なし」と思っていました、山口美祢の家の屋根瓦が猛烈な風で吹き飛ばされてしまいました。

まったくの不意打ちみたいなものですが、植木が根元から引きちぎられているのを見て風のすごさにビックリです。台風の住宅被害 火災保険でカバーできるの知っていますか・・・

地震は特約必要でしたが、まあ 念のためと保険会社に連絡すると「住宅 塀 植木 」色々制限あるもののみならずカバーの対象。おかげで助かりました。

阪神大震災であれだけ話題になった屋根瓦の工法「でも 新しい家でなぜ 軽量の屋根瓦飛ぶねん・・・」と不思議でしたが、「当地ではローカル ルールで屋根に乗せただけ。屋根瓦の釘打固定の標準作ったのは数年前・・・」と。

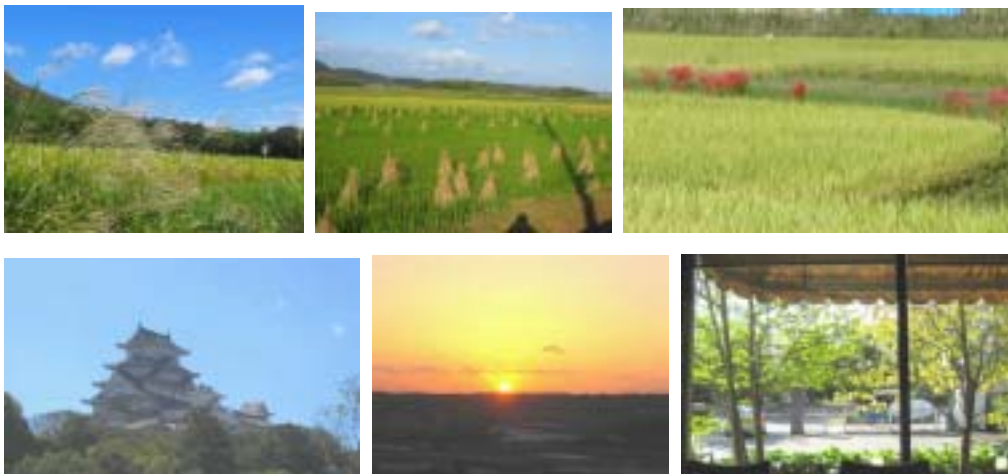
またもや 日本のローカル ルール もう やっぱりやめないと・・・。

安全に代償を正規に払うこと 効率・コストの前に安全を犠牲にすることをストップする社会コンセンサス誰もが認めないと その代償の大きさ計り知れない。

ひとつごとではないとつくづく思うのですが・・・

台風一過 久しぶりに 50cc バイクに乗って 神戸の裏道を秋の田園風景が広がる播州路を姫路へ。実りの秋 真っ青の秋の空に 黄金の稲穂 畦道に咲く赤のマンジュシャゲ そして山端の道にはススキの穂。

ほつと一息。心配した姫路の城も外から見ると限り ok。



秋一色の播州路 姫路・加古川周辺で 2004.9.29.

県立歴史博物館・市立美術館をのぞいて 時間をはずした午後のランチを楽しむ 窓から見える公園の樹木が秋の絵 そのもの 落ち着いた静かな雰囲気の中で 久しぶりに一人の午後を楽しみました。

萩焼の田中講平先生のホームページ作りに参画して

美祢で親しくしていただいた田中講平先生が開かれた萩焼窯元 陶房葉月のホームページ 作成に参画。
ビジネス抜きの萩焼の心情・楽しいページを作りたい。陶芸教室の人たちのインターネット写真館もやってみたい。
次々のアイデア思いにうれしくなって 田中講平先生のホームページ作りに参画しています。
9月トップにホームページ立ち上がりました。 萩焼 お好きな方 一度 アクセスください。

萩焼の田中講平先生のホームページ

「萩焼窯元 庄司庵 陶房葉月 田中講平のページによるこそ」

<http://www.k2.dion.ne.jp/~hazuki/>

アツと驚く 自分のパソコンがのぞかれている

インターネット「スパイ ウェア」のこと

「パソコンがうまく作動しない。 ホームページのスタートページが別のサイトに書き換えられている ウィールスヤ」との電話。 話には聞いてはいましたが、どうも「悪質なスパイ ウェア」にやられたらしい。
スパイウェアとは あるホームページサイトを開いたときに、そこから自分のパソコンに入り込んで、パソコンの情報などを外に送り出すソフトをパソコンに組み込む。

悪質なものは 特定のホームページに誘導したり、ホームページのスタートページを書き換えたりするらしい。
スパイウェアはインターネットのブラウザ履歴やクッキーから、どんなサイトに行きどんな趣向を好むのかなどを調査し、本人が知らぬ間にネットの特定の場所に送ります。そしてその情報は企業のマーケティングなどに利用されます。中には情報収集の他に、ポップアップの広告やサイトを勝手に表示したり、ブラウザのスタートページを勝手に書き換えるといった悪質なものもあります。

スパイウェアの場合はウィルスのように感染や破壊活動をするとはまずなく、もっぱら個人情報の収集に用いられています。ほとんどのスパイウェアはユーザーにその存在を知らされることなく侵入しますが、一部には作者、もしくは企業自らスパイウェア入りのツールであることを公言し、それを利用者に認識させたうえで使用するか否かを求める場合もあります。

したがって、ウィルスとは異なり、現状のウィルス チェックでは駆除できないのが現状。

でも 上記した悪質なもの アメリカではもっとすごいのが組み込まれ被害がでたとの情報も聞くし、薄気味悪くネットにある「スパイウェア 検出・駆除」ソフトをダウンロードして 自分のパソコンをチェックしてみました。

「インターネット セキュリティ」導入しているし 大丈夫と思っていましたが、 驚くなかれ 20近い「スパイウェア」を検出。 2、3 悪質なスパイウェアの表示も……………。

幸い私のパソコンは動いていますが、自分の知らない間に 自分のパソコンも情報戦に組み込まれていること喜んでいいのかどうか・・・ 情報社会の怖さを垣間見たような気がしています。

銀行カードがのぞかれているとよく聞きますが、パソコンも注意が肝要。

でも おびえてばかりでも仕方なし。パソコンは情報化の先端武器。

そこから得られることも多く、自分が情報化社会の一員に組み込まれていること知って置くこと一番大事。

なお 色々出ている「インターネット セキュリティ ウィルスチェッカー」にも 2005 年版から本格的に悪質なスパイウェア駆除が組み込まれるようです。

台風も暑さも一段落 一番気持ちの良いシーズンになります。

みんなに負けないよう 元気に 動きたく思っています。

下記に 今回改訂した ホームページの概要示しました。暇なおりにでも・・・・・・

また 元気なメールください

2004.10.2. 神戸にて Mutsu Nakanishi

今月のホームページ 概要

1. 「先大津阿川村山砂鉄洗取之図」の周辺で
-江戸末期長門のたたら製鉄(白須たたら)工程絵巻-
山口県立博物館 平成 14 年度企画展 図録「鉄と人の文化史」
財団法人 JFE21 世紀財団 「たたら 日本古来の製鉄」より
2. 大阪縄文塾 小山修三氏と佐藤洋一郎氏の対話
「縄文の森 火と農耕・森に火をいれる」を聞いて
縄文の森と知恵に スーロライフを重ねて
3. 2004 秋点描 関西で

1. 「先大津阿川村山砂鉄洗取之図」の周辺で

-江戸末期長門のたたら製鉄(白須たたら)工程絵巻-



山口県立博物館 平成 14 年度企画展 図録「鉄と人の文化史」
財団法人 JFE21 世紀財団 「たたら 日本古来の製鉄」 より

一度ぜひ見たいと思っていた東大所蔵の「先大津阿川山砂鉄之図」。山口県東北部の「白須たたら」のたたら製鉄全工程図という。

「たたら炉」の絵は良く見かけるのですが、タイトルにある「先大津阿川山砂鉄之図」はどんな絵か・・・・・・
長門・大津は美祢市に赴任していたとき良く歩いた地に違いないと・・・・

この絵巻についてまとめた資料を山口県立博物館ならびに JE21 世紀財団より送っていただき、そのものではありませんが、絵巻の主要部を見ることができました。

また、自分が歩いた土地が、山口県のたたら関連地であることもわかり、絵巻と以前に撮ったたたら関連地とダブらせて整理しました。

2. 大阪縄文塾 小山修三氏と佐藤洋一郎氏の対話

「縄文の森 火と農耕・森に火をいれる」を聞いて

縄文の森と知恵に スローライフを重ねて



2004.9.22. 久しぶりに大阪での山内丸山縄文発信の会 大阪縄文塾に参加。

「森に火をかける」ことの意味や 火を通じて得た文化と技術の大きさを最近の技術伝承や流行の「スローライフ」に重ねて考えてみました。

今 中国地方で イノシシが猛烈に増えている。最近のクマ出没もただ事でない。山が里山が荒れている。自然保護の意味付けも考え直さねば・・・と聞きました。

3. 2004 秋点描 関西で



久しぶりにブラッと歩いた大阪城・天王寺界限 すっかり変わってしまって・・・

でも 歩き出すと 子供の頃のことが すぐ浮かんできて 久しぶりに昔に帰っていました。

台風一過 真っ青の空に実りの秋を迎えた「播州路の秋」の写真と一緒に「2004 関西の秋点描」アルバムにしました。

by M. Nakanishi 2004.10.2.

9.

2004. 11 月 New Page from M. Nakanishi 2004.11.5.



「先大津阿川山砂鉄洗取之図」より

新潟中越大地震 ならびに度重なる台風の被災者の皆様に
心からお見舞い申し上げます 早く 立ち直られることを

もう 当分 大きな台風は襲い掛からないだろうと思っていたら、連続パンチ。そして、大地震までも

こんなに身近に しかも 連続しておこるなんて。。。。

10年前の神戸の街と越後三山山麓 奥只見の山村の風景が重なって 毎日食い入るように見えています
神戸でもそうでしたが、雪が来る前に 落ち着いて手足をのばせる住む場所だけでも早くフォローされることを願っています。

「何十年ぶり、何十年最大のものを想定して・・・」というのは曲者で、やっぱり備えておかねば。。。

起こってしまえば 後の祭り 難しいとこですね。

今 日本の生活環境・地球環境が大きく変化していて、昔のレベルで課題を想定すると危ないそんな感じ。。

精度・効率が上がることによる贅肉落としは果たして安全か。。

物事はバランスとよく言われますが、 常に対峙する反対の視点を殺さぬこと今ほど必要なときはなし。

地球環境の悪化とそのスピード 従来の常識シュミレーションから逸脱し始めているのではないか・・・

今度の連続台風になんか感じがしてなりません。

2004.11.5. 神戸にて

Mutsu Nakanishi



九州 縄文・古代遺跡の旅

〔左 菊池川 山鹿市不動岩 中央 宮崎 西都原 鹿児島 桜島の夜明け〕 2004.10.6-7.



初秋の吉野山 2004.10.13.

お元気でしょうか。。。。

はや11月になり、秋まっただなか。 でも 神戸では 台風塩害の影響で 真っ赤に紅葉する前に枯葉がめだっています。 日本列島 次から次の災害で どこかで仲間が被災している。

大変な状況に ただ 「前向いて 再建にたちあがってほしい」と声をかけるのみに腹立たしさを感じています。

私の方は相変わらず。。。 家内と二人 「風来坊」を楽しんでいます。

台風16号で山口の家の瓦が飛び、ご心配いただきましたがやっと瓦が乗り、ひと安心です。

火災保険で台風被害の補修 カバーができましたが、知らない人が多いのにもビックリでした。

10月半ば 以前一緒に新素材で苦勞した仲間が、山口県美祢での開発の仕事に赴くとのメールをくれた。

自分の足跡の跡を継いでくれる仲間がいること うれしい限り。

厳しいビジネス環境の中 継続してゆけば、新しい道が見えてくる。。。と多くの成功例が語る。

若い人に逞しさを感じつつ、新しい挑戦から 成功をつかんでほしいと願っています。

2004 秋 つれづれに

最近 風来坊的に色々なものに参加するのですが、感じたこと 二題

その一

「老後は趣味の世界で。。。。。」とはよく言いますが、そんな年代になってきて、暇に任せて 色々な事に出かかっています。でも、趣味の会 いろんな知識が増えて それはそれで楽しいのですが、 ちょっと物足りず。

先日 山内丸山縄文の会の大阪「縄文塾」に参加して、ふっと気がつきました。

「外へ向いて 発信。拡がる世界につながっている」との感覚がやっぱり一番ですね。。。。。

そんな目線で色々なものにかかわっていきたいと思っています。

吉野山 蔵王権現のすごいエネルギーと迫力 いろんな世界を認め合う「蔵王権現」神仏融合修験の世界も そんな感じと。。。

その二

先日九州への古代遺跡のツアーでの出来事

乗った鹿児島から宮崎への JR 特急が 約 10 分遅れて 駅前からでる路線バスに間に合わず。路線バス以降の計画メチャクチャに。。。

汽車の中から JR・バス会社に連絡取るも埒開かず。結局路線バスはだめ。次は一時間待たねばならぬ。

たった十分の想いがバス会社に向く。

バス会社にいわく。

「こんな 特急 遅れのこと よくあるだろう 20 数名も乗り遅れ。

どないするか 危険予知もっとしておいて。。。」と。

でも 考えてみたら 危険予知 必要なのは どっち。。。。

「10 分の乗り継ぎ 遅れた場合の対処は。。。」

どうも 年寄り特有の「自己チュー」か 都会人の地方に対する「エゴ」か。。。。。。。

タクシーに乗って ふっと我に帰って みんな笑いあったのですが。。。

自分も年寄りの自己チューの仲間入り 心せねば。。。

2004.10.15. Mutsu Nakanishi

あいかわらずですが、出かけられる時間が自由に取れるようになり 興味の赴くまま 色々な事に参加させていただき楽しんでいます。

11 月のホームページ 改訂しましたので、近況かたがたお知らせします。

暇な折にでも 是非一度 アクセスください。

2004.11.5. 神戸にて Mutsu Nakanishi

当月掲載した記事

1. 2004 秋 つれづれに 思うこと
2. 九州 縄文・古代を訪ねるツアー
 - a. 熊本 県 菊池川流域の装飾古墳群
 - b. 鹿児島県 上野原縄文遺跡
 - c. 宮崎県古事記・日本書紀神話の西都原 古墳群
3. 吉野山 初秋 ハイキング
4. 萩焼 田中講平先生の広島作陶展「萩焼にほたる 舞う」
地球おはなし村のこと



上野原縄文遺跡

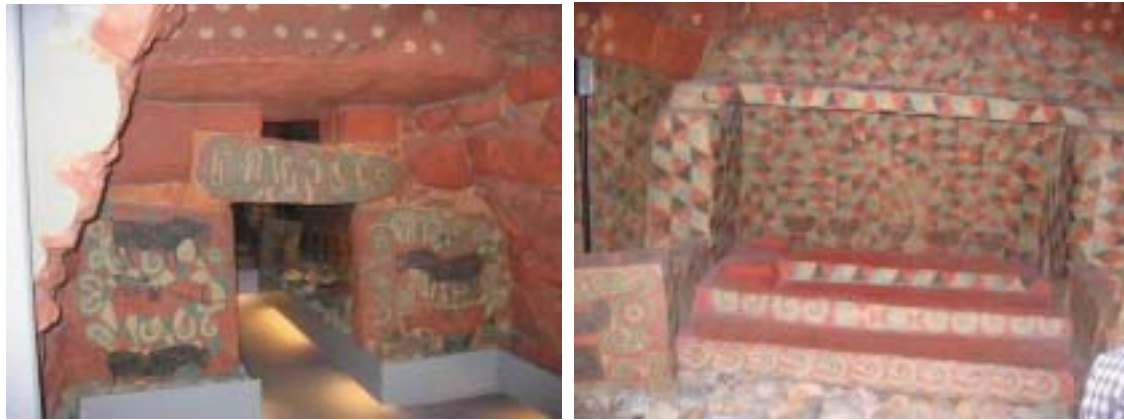
9500 年前 南海を黒潮に乗って渡ってきた縄文人がいた

追 加 で す

今回 「和鉄の道」 たたら製鉄遺跡探訪記事ありませんので 未整理ですが 下記追加

日本で一番美しい装飾古墳 筑紫の国 王塚装飾古墳

装飾古墳は大陸・朝鮮半島から渡ってきた鉄の技術集団 産鉄の先進地の証でないか。。。。。。



6世紀の王塚装飾古墳 古墳内部は隣の王塚装飾古墳館に作られた復元レプリカ 2004.10.15.
福岡県 桂川町 北九州を南北に流れる遠賀川流域 飯塚市の南

だんだん寒くなります。

地震・台風の被災に会われた人たちの一日もはやい立ち直りを。。

また 元気なメールください

Mutsu Nakanishi

当月掲載した記事 の 概 要

1. 九州 縄文・古代を訪ねるツアー



- a. 熊本 県 菊池川流域の装飾古墳群
- b. 鹿児島 県 上野原縄文遺跡
- c. 宮崎 県 古事記・日本書紀神話の西都原 古墳群

10月の初めに 前々から計画していた縄文の会のみなさんと一緒に 「九州の縄文・古代を訪ねるツアー」にでかけました。一泊二日の強行スケジュールでしたが、いずれも日本のルーツにかかわる遺跡。

5世紀古墳時代に花開いた熊本 菊池川流域の装飾古墳群・鹿児島 上野原縄文遺跡・ 記紀伝説 日本神話の宮崎 西都原古墳群。

緑の中にゆったりと流れる時間を楽しんできました。

憧れの上野原(9500年前 南海の海を黒潮に乗ってやってきた縄文人の大集落)

古墳時代 北九州・茨城県に偏在する「前高松塚」の幾何学文様が鮮やかに描かれた装飾古墳群

私にとっては 鉄技術を持ってやってきた渡来人ではないかとのイメージ 益々膨らみました。

また、日本神話の宮崎県西都原 緑の台地に多くの古墳が点在 日本誕生の幕開けの地 日本神話の裏にある北の「蝦夷」とおなじ運命をたどる「隼人」に鉄を重ねて 興味深々



チブサン古墳
熊本菊池川流域 装飾古墳群



縄文復元竪穴
上野原縄文遺跡



男狭穂塚・女狭穂塚
住居宮崎 西都原

九州脊梁山脈の山裾をグルリと一周 阿蘇・霧島・桜島 そして 宮崎 尾鈴山・祖母・傾山塊と眺めながらの旅 COuntry Walk を楽しんできました。

やつぱり、見ると聞くとは大違い 行くと新しい発見の連続 風来坊の楽しみです。

2. 吉野山 初秋 ハイキング

大阪で開かれていた「世界遺産 吉野・熊野・高野 祈りの道」展で 出展されていた吉野の「蔵王権現」像のすごいエネルギーに引かれ、今 吉野 金峯山寺 蔵王権現堂の秘仏「蔵王権現三尊」像がそのままの姿で公開されているのを知って、その迫力に触れることと吉野から大峯・熊野へ続く奥駈道の起点部分 吉野山の頂上 青根ヶ峯までハイキングしてきました。



吉野山 金峯山寺 と 蔵王権現 三尊像 2004.10.3.

吉野山金峯山寺 蔵王権現堂 建物も秀吉が再建した奈良の大仏殿次ぐ巨大な木造建築物に6, 7mに及ぶ蔵王権現像三体 大地を踏みつけ 荒々しい形相でこっちをにらみつけて立っている。一辺に元気になること請け合いです。

ちょっと 紅葉にははやかったのですが、色づき始めた樹木の中の静かな山道をプラプラ 楽しんできました。

3. 萩焼 田中講平先生の広島作陶展 「萩焼にほたる 舞う」

山口で親しくさせていただいている 陶芸家 萩焼の田中講平先生の作陶展が広島で開かれ、

先生の新作が見られるのを楽しみに9月末 家内と二人 高速を飛ばして出かけました。

淡い赤の丸い環がぼつぼつと地肌の上に飛んで作品を一層味わい深いものになっている。

萩焼でいわゆる「ほたるが飛ぶ」という技法 鉄屋・炉の熱処理をやってきた私には興味津々。

鉄が絡んでいるだろうと色々話を伺いました。

さすが、芸術家 この技法一つにも奥深い陶芸家の技があること知りました。

今度から 萩を見るにも 新しい眼が加わりました。



広島 田中講平 作陶展で

また、田中先生のホームページ作りに参画。いつしょになって 先生のホームページ作り楽しんでます。

デジカメで作品の写真撮って 並べれば。。 ですが、僕らの取る写真は ワン(碗)は斜め上から ワンの中も見えるように。。。

でも 真横から しっかりと作品の線を見えるように取るのが 普通と。。 両方並べると 違った味がある。

また、写真を撮る角度・位置によって作品が傾いたように見える。

でも 「ロクロで そんな傾いたん 創らん まっすぐにして。。」

との注文。なるほど なるほど です。

いろんな新しい事に接して 一緒にホームページ作りを楽しんでいます。 楽しい仲間です



田中講平先生のホームページ 下記です。

萩焼に興味ある方 一度 アクセスください

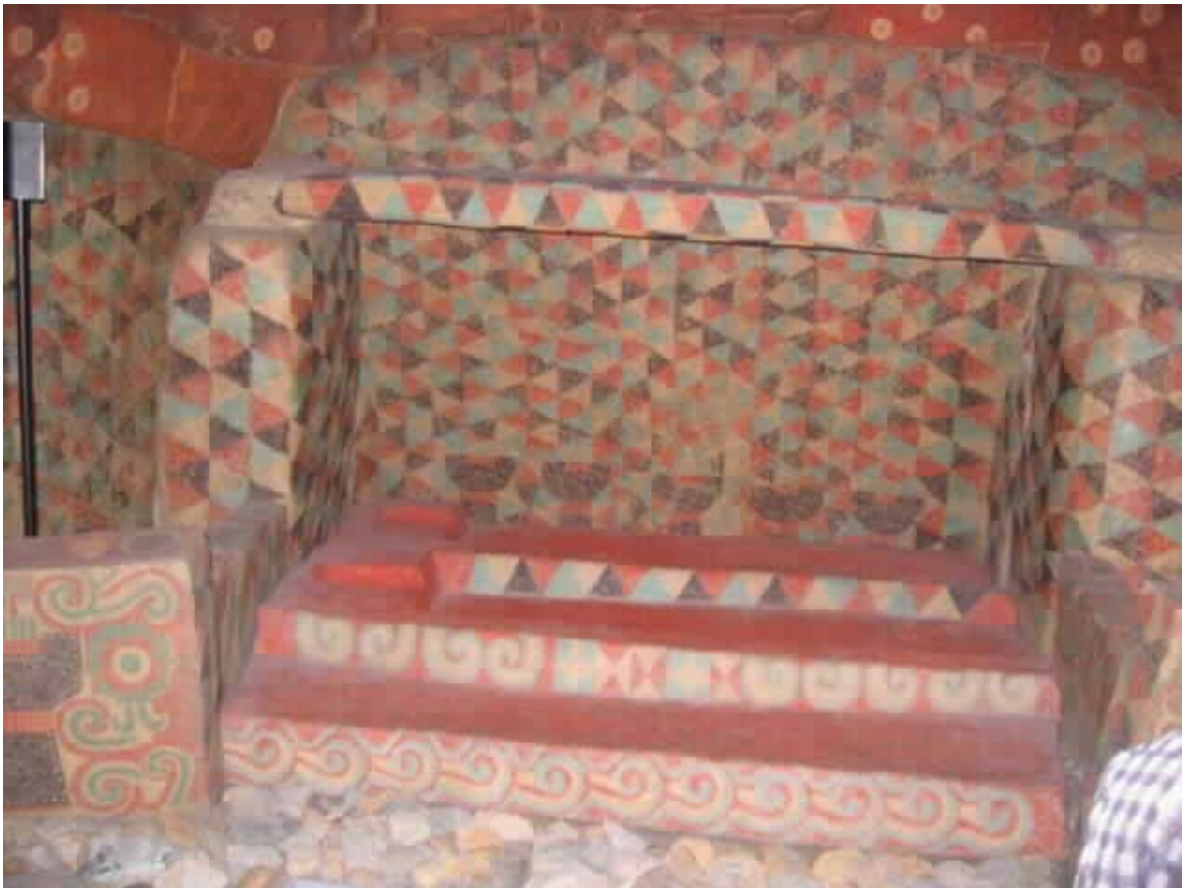
萩焼窯元 陶房葉月 田中講平のページ <http://www.k2.dion.ne.jp/~hazuki/>

追加 日本で一番美しい装飾古墳 筑紫の国 王塚装飾古墳

今回 「和鉄の道」たたら製鉄遺跡探訪記事ありませんので 未整理ですが 追加しました。

九州 菊池川の装飾古墳群のチブサン古墳を訪ねて この地が産鉄の地であることを知り、北九州のもう一つの装飾古墳集積地である福岡県 遠賀川流域に是非行きたくなって 山口へいった10月15日 家内と二人 日本で一番

美しい装飾古墳 筑紫の国 王塚装飾古墳を 飯塚市の南 桂川町にたずねました



王塚装飾古墳 古墳内部は隣の王塚装飾古墳館に作られた復元レプリカ 2004.10.15.

素晴らしい色鮮やかな装飾古墳に本当にビックリ。

また、この遠賀川は産鉄の地 弥彦山から北へ流れ降り、この川の流域では砂鉄が取れるという。

もう 7,8 年前になるが、この川の流域 添田町でたたら遺跡が発見されたと聞いて出かけたことがあるのを思い出しました。

ばらばらだった筑紫の国の産鉄関連地が、こんなに近いとは。。。。

「装飾古墳の集積地は古代 産鉄の地」 今月様まとめませんでした、来月にでもまとめます。

高松塚よりも古い時代に こんなに美しい装飾古墳があったこと驚きです。

ちなみに この装飾古墳の赤は酸化鉄・ベンガラである。

地球おはなし村のこと

昨年 一緒に活動した大阪民博の「おはなし村」

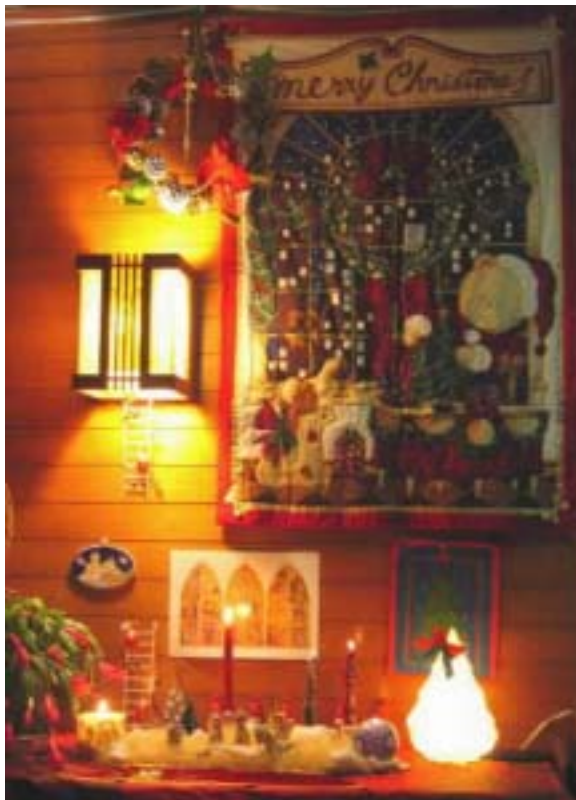
「地球おはなし村」として 西アフリカのおはなしの語り部・ジャンベ太鼓の音楽活動など新たな活動がスタート
僕はそんな才ありませんが、ホームページ作りなどの仲間に加えていただいています。(現在 ホームページ 構築中)

11月20日土曜日に 大阪十三で 「ペッテ村に井戸をつくる」ためのチャリティ公演 を兼ねて
「地球おはなし村」 第一回公演です。 ご興味あれば ぜひ お立ち寄りください。

by M. Nakanishi 2004.11.5.

10.

2004. 12月 New Page from M. Nakanishi 2004.12.15.



Merry Christmas !!
*Wish everybody will be happy
all of the world.*

そよ風の暖かさが世界を 包むように

世界に平和が 満ち満ちますように
ひとりひとりが 平和の道具に

2004.12.25.

暖かくて、まだ、冬の実感がありませんが、あっという間に師走
今年も 異常気象の中で 連続台風の中越地震の追い討ち。 被災地の人たちには早く立ち直られること願っています。

また、世界では戦禍と飢えの人の群れ まだ 歯止めのかからぬ時代 何とかならぬかと気をもむのみ
クリスマス 新年をひかえ、早く平和で暖かい時代の到来を願っています。

自分は 今年 なにをしてきたのか。。。と考える今日この頃です。

ホームページを改定しました。11月12月ばたばたして、きっちり整理もせず、またばたばたの改定ですが、
元気に風来坊 Country Walk を続けている証拠とお受け取りください。

2004.12.15.



「先大津阿川山砂鉄洗取之図」より



旧暦 1 月 8 日は鍛冶屋の祭り 鞆祭 今も新暦で各地で祭が行われている



阪神間 六甲の東の端 甲山 慣れ親しんだ山の変貌にビックリ 2004.12.8.

● &&&&&&& 神戸だより Country Walk 11 & 12月 風来坊 &&&&&&&

仲間と「大学卒業 40 年」文集作り
 「和鉄の道」 鍛冶屋の祭り 鞆祭
 子供のころから慣れ親しんだ 六甲の東端「甲山」
 陶房葉月便り (萩焼の田中講平先生のホームページ)
 「地球おはなし村」便り

仲間と「大学卒業 40 年」文集作り

私の仲間はみんな 60 の定年を過ぎ、それぞれが、今までとは違った次の生き方をはじめた年。

いろんな思いが、飲み会で語られた年でした。

「卒業 40 年の軌跡」をまとめよう」とせっせと文集づくりに参画して・・・

知っているようで、知らなかつた意外な仲間の軌跡。送られてくる原稿にのめりこんでしまって・・・。

おかげで、多くの仲間とメールを通じて接触して、また、新しい元気をもらいました。

13日より、神戸では「ルミナリエ」が始まり、来年は「阪神淡路大震災 10 周年」。

「いつまでも過去をふりかえっていても。。」の声もありますが、本当に仲間を「まじかに」感じたのは久しぶり。ふと「立ち止まって考えてみることの大事さ」を感じた文集作りでした。

「和鉄の道」 鍛冶屋の祭り 鞆祭

「しばしも 休まず、槌打つ響き とびちる火花よ 走る湯玉
 ふいごの風さえ、息おもつかず 仕事に精出す 村の鍛冶屋」
 ついぞ 口ずさむこともなく、忘れていた小学唱歌「村の鍛冶屋」である。

金物の街 兵庫県三木市の金物神社境内にある金物博物館前に ふいごをかたちどったこの「村の鍛冶屋」の歌碑がある。

旧暦11月8日は鍛冶屋の祭り「鞆祭り」。

今では新暦の11月8日に日本各地で鞆祭りが行われることが多いという。

江戸では鍛冶にかかわる人たちが、仕事を休んで、風を送る道具「鞆」を祭って、仕事の繁栄と防火を祈り、街の子供たちにみかんをばら撒き一緒に鞆祭りを祝ったという。

この鞆祭のみかん 紀伊国屋文左衛門は強い季節風をものともせず、江戸へむけ船を出し、財をなしたという。

東京 鍛冶屋の街 「神田」でも神田明神で鞆祭りが行われるという。

ぜひ一度 この鞆祭りを見たいと思いながら、機会がなかったのですが、やっとこの鞆祭りを下記2ヶ所で見学してきました。

「村の鍛冶屋」の歌碑がある金物の街 兵庫県三木市「金物神社」の「ふいご祭り」
鉄・金属屋の守り神 金山彦命を祭神とする岐阜県垂井 「南宮大社」
の「金山祭・ふいご祭り」と「古式鍛錬」

今 私の興味は たたら製鉄が始まる5,6世紀以前 日本誕生に大きくかかわった 「先たたら」の製鉄技術の存在。多くの古代伝承の中にそれを見る。

「鞆祭り」の中にも そんな和鉄の歴史の痕跡を残していると考えられる。



小学唱歌「村の鍛冶屋」歌碑
三木市金物神社境内 金物資料館



鞆祭り 古式鍛錬
岐阜県垂井町 南宮大社 金山祭り 2004.11.8.

伊吹山の山麓 美濃もそんな古代の中心ではなかつたか・・・と考えられています。

この南宮神社の南東養老の地は壬申の乱の天武天皇と関係深い産鉄の地でないか・・・。

大海人皇子(天武天皇)は大和吉野から軍をひきいて隠(名張)から伊勢・美濃を経て、近江の京に迫り、近江軍を破って天皇の位につく

また、北東には美濃国府があり、直ぐ横には大前方後円墳群 そして赤鉄鉱を産する金生山があり、これらの関連が南宮大社へつながっている。

そんな思いで 南宮大社の古式鍛錬式・鞆祭りを見ました。

鞆祭りを見学したあと 美濃 古代の道 東山道(中仙道) を Country Walk。金生山にも登って、美濃の国の鉄を訪ねました。

九州の装飾古墳群 そして、この美濃の国 日本誕生とかかわる産鉄の地 そして それらを支配する豪族がそれぞれ日本誕生に連合・参画していったのではないか・・・

まだ、整理はしていませんが、美濃の国 Country Walk も楽しい旅でした。

まず、第一報 鍛冶屋の祭り 「鞆祭り」見学記をまとめて 「和鉄の道」に掲載しました。



西宮市街地から甲山を望む



甲山から阪神間の市街地

2004.12.9

「甲山」六甲山系の東の端にこんもりとお碗型をした小さな山がある。阪神間で育った人たちでは誰でも知っている山で 何度か遠足にピクニックに また幼い時の冒険の地でもあった。

尼崎で育った私には 六甲連山を背後に朝な夕なに眺め、一番親しい山である。でも 歩いてみて、その変貌にビックリ。

私たちの知っている「甲山」からはまったく違っていましたが、昔を楽しみながらの気楽な WALK でした。

ぶらぶらと約3時間ほど西宮市街から 上ヶ原から甲山に登って神呪寺におりて、大師道を下ってまた西宮の街へ気持ちのよい午後の WALK でした。

でも 毎日通っていて よく知っているつもりが、こんなに変貌しているなんて、驚きでした。

時間の重みを感じながら昔をたどる walk。

おそらく、こんな道は誰もが持っている故郷の道なのでしょう。

久しぶりに 西宮の市街地に足を踏み入れたとたん 自然と甲山に足を向けていました。

車では絶対に感じられない WALK。おすすめの Country Walk でした。

甲山の散策も気楽でいいですよ ぜひ 一度 街中を歩いてみては・・・

陶房葉月便り (萩焼の田中講平先生のホームページ)

陶房葉月 田中講平のページによろこそ」

一緒にインターネットを楽しんでいる山口市吉敷の萩焼 陶房葉月の田中講平先生を家内と二人で訪ねました。

「陶房葉月」秋の陶芸教室生徒作品展がちょうど スタート。

インターネットで「インターネット 陶芸教室作品展」やろうという企画のホームページ製作を一緒に楽しみました。

みんな すばらしい作品ばかりで、中央の公募展に応募する人もいるか・・・

深まり行く秋を 陶房葉月で一日過ごして帰りました。



また、萩開府400年記念「萩の陶芸家たち」展を県立萩美術館を見てきました。

萩の大家から気鋭の作家まで、本当に惚れ惚れする作品が並び、その中に田中講平先生の作品も堂々と位置を占めていました。

展示は萩の各種技法の最高峰 すばらしい作品が並び、そのそれぞれに、決してとどまらない技術のすばらしさ そして 奥行きが 作品の二つとない美しさをかもし出し、さの歴史を感じて感動しました。

萩のよさは やっぱり、現地で 実際に見て・・・すごい感動でした。

この展覧会の目録として出版された「萩の陶芸家たち」の本を買ったのですが、108人の陶芸作家の代表作とともに、萩焼き作陶家たちのすごい苦難の歴史がまとめられていました。

伊万里の李三平の歴史は見聞きするのですが、同じような歴史が 萩でもあったこと知りました。 薩摩もそうです。

和鉄の歴史 朝鮮半島交流史 そして その後のたたら歴史と重なって、非常に興味津々。

一度きっちり 調べたいと思っています。

「萩焼窯元 庄司庵 陶房葉月 田中講平のページによる」

インターネット 陶芸教室 生徒作品展

<http://www.k2.dion.ne.jp/%7Ehazuki/tgkyo00.htm>

「地球おはなし村」便り 地球おはなし村ホームページ

やっと「地球おはなし村」のホームページが立ち上がって、11月20日 大阪十三の教会でのチャリティー公演「地球おはなし村」とバザーが開催。 僕は当日山口からとんぼ返りで参加するだけでしたが・・・。

多くの人に支えられ、西アフリカ ペツテ村の井戸掘り募金もだいぶ集まったようです。

最後はいつものとおり、ジャンベの太鼓のリズムで輪になってみんなで 手拍子・膝を打って 踊って・・・

これがあるから やめられない 。



2004.11.20. チャリティー公演「地球おはなし村」で

一度「地球おはなし村」の活動に参加しませんか・・・

また、ご協力いただいている西アフリカ ペツテ村井戸掘り募金も引き続きよろしく

内容は 「地球おはなし村」のホームページをぜひ ご覧ください。

地球おはなし村ホームページ

西アフリカ 北部カメルーン・ペツテ村 井戸掘り募金にご協力

水の少ない北部カメルーンの地で しかも人口爆発により

益々環境が悪化し、子供たちが苦しんでいます

きれいな水を !!

井戸掘り募金にご協力をお願いします

今月のホームページ 概要

1. 「和鉄の道」 鍛冶やの祭り ふいご・鞆祭り

金物の街 兵庫県三木市 金物神社 鞆祭り 2004.11.6.

岐阜県 垂井町 南宮大社の金物祭・鞆祭り 2004.11.8.

旧暦 11月8日は鍛冶屋の祭り「鞆祭り」。

今では新暦の11月8日に日本各地で鞆祭りが行われることが多いという。

江戸では鍛冶にかかわる人たちが、仕事を休んで、風を送る道具「鞆」を祭って、仕事の繁栄と防火を祈り、街の子供たちにみかんをばら撒き一緒に鞆祭りを祝ったという。

この鞆祭のみかん 紀伊国屋文左衛門は強い季節風をものともせず、江戸へむけ船を出し、財をなしたという。

東京 鍛冶屋の街 「神田」でも神田明神で鞆祭りが行われるという。

ぜひ一度 この鞆祭りを見たいと思いながら、機会がなかったのですが、やっとこの鞆祭りを下記2ヶ所で見学してきました。

「村の鍛冶や」の歌碑がある金物の街 兵庫県三木市「金物神社」の「ふいご祭り」
鉄・金属屋の守り神 金山彦命を祭神とする岐阜県垂井 「南宮大社」
の「金山祭・ふいご祭り」と「古式鍛錬」



小学唱歌「村の鍛冶屋」歌碑
三木市金物神社境内 金物資料館



鞆祭り 古式鍛錬
岐阜県垂井町 南宮大社 金山祭り 2004.11.8.

2. こどものときから慣れ親しんだ甲山 Walk

六甲連山の東の端 甲山 その甲山が街から見られない



西宮市街地から甲山を望む



甲山から阪神間の市街地 2004.12.9

「甲山」は六甲山系の東の端にあるこんもりとお碗型の小さな山。
尼崎で育った私には 六甲連山を背後に朝な夕なに眺め、一番親しい山である。

何十年ぶりだろうか・・・歩いてみて、その変貌にビックリ。

ぶらぶらと約3時間ほど西宮市街から 上ヶ原から甲山に登って神呪寺におりて、大師道を下ってまた西宮の街まで 私らの知っている「甲山」からはまったく違っていましたが、昔を楽しみながらの気楽な WALK。でも 毎日通っていて よく知っているつもりが、こんなに変貌しているなんて驚きでした。

3. 神戸だより Country Walk 11月 & 12月 風来坊

仲間と「大学卒業40年」文集作り

「和鉄の道」 鍛冶屋の祭り 韃祭

子供のころから慣れ親しんだ 六甲の東端「甲山」

陶房葉月便り (萩焼の田中講平先生のホームページ)

「地球おはなし村」便り

by M. Nakanishi 2004.12.15.

2004 四季 折々 Mutsu

【完】

2004 四季 折々 Mutsu 思いつくまま

■ 四季折々 Mutsu 神戸便り 2004 のpageへ

■ 神戸で 思いつくまま 2004 の page

1. 神戸 ルミナリエ 2003 写真集 2004.1.11.
2. 山はごぶさた 久しぶりに 須磨アルプスに 2003.12.17.
3. 鉄のモニュメント 東京六本木ヒルズ (66ビル群) 2004.1.8.
4. 「だまし絵」 最近の6本木ビル回転ドアやトラック脱輪事故対処に思う 2004.3.1.
5. 日本列島 気候激変が繰り広げたドラマ 2004.4.30.
関東平野も大阪平野も 6000年前は海や低湿地 そんな昔の海岸線知ってますか・・・
太平洋側の里山傾斜地に咲くカタクリの花 「氷河期の生き残り」って知ってますか???
6. 三菱自動車欠陥問題について 2004.7.1.
何か変と思いませんか
7. 北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」 2004.9.5.
8. 大阪縄文塾 小山修三氏と佐藤洋一郎氏の対話 2004.10.2.
「縄文の森 火と農耕・森に火をいれる」を聞いて
縄文の森と知恵に スーロライフを重ねて
9. 2004 秋 つれづれに 思うこと 2004.10.15.



「知恵は経験の娘。ただ 想像だけによって
自然と人間との間の通訳者たらんと欲した芸術家連を信じるな」
「自然の不可思議の通訳者は経験である。
自然は原因をもって始まり、実験をもって終わるが、
我々はその反対をとらねばならない。
我々は実験をもって始まり、
実験をもって 原因を探求しなければならない。
そこから、経験と相談しつつ、一般規則を引き出せる」



----- レオナルド・ダ・ヴィンチ



神戸ルミナリエ



神戸市街 全景

神戸・淡路大震災震災画
「神戸」尾崎和子作
須磨聖ヨハネ教会

ご無沙汰していますが、いかがでしょうか・・・

新しい年がはじまり、風向きが変わって 半導体など新ビジネスは景気が上向きとか
一方 イラク戦争が影を落とし、イランの大地震 今年こそは 平和への突破口が開ければ・・・



この時期 神戸では神戸淡路大震災のメモリアルの時一色

1995年1月17日午前5時46分 神戸を中心とした大地震 忘れられない出来事でした

神戸は今年震災後 9年を迎え 街には新しい息吹が芽生えていますが、この時期になると震災のことが 昨日のように思い浮かんできます。

神戸を離れていた後ろめたさを胸に 押しつぶされた家の間を縫って 真っ暗な須磨寺の道をとぼとぼ 自宅へ向かった時のこと本当に昨日のようで、ついつい話します。

12.12. 「神戸ルミナリエ」が始まりましたが、震災で火の消えた真っ暗な神戸の街に「ルミナリエ」の光が灯った時 その明るさ・その美しさにビックリし、なんと光のあることが良い事かと。

本当に「光・ルミナリエ ありがとう」・・・と。

あの時の感激は少し薄らぎましたが、いろんな場面を思い出しながら 今年も光の中を歩きました。

神戸の人は皆 同じでしょう。

でも 神戸の人にとっては 昨日の出来事 歩いていても それがよぎります。

昔を回顧するのではなく 「今どう生きているか」 つらい犠牲の中で得た連帯とノウハウが今 神戸のあちこちで語られています。この期間中500万を超える人出だったと

神戸の人にとって「ルミナリエ」をスタートにこの時期は新しい年の初めとは別の思いの本当に大事な時となりました。もうあんな光景はみたくないと願いながら イラク戦争 そして イラク大地震 つらい光景がひしめいている。

時計が逆周りせぬよう また 小さくても 平和で明るい社会へ

風来坊の気安さを力に 自ら 一步踏み出さねば・・・と



須磨アルプス 縦走路
中央: 横尾山 背後: 鷹取山



須磨アルプス 馬の背 2003.12.17.

山へはちょっとご無沙汰 久しぶりに 須磨の山歩く程度

須磨アルプス 六甲山全山縦走の西の端 低いですが ちゃんと馬の背の岩稜もあって 六甲のようにドライウエイも家もなし。 まったくの山の中に入り込む。

須磨離宮の所から登り初めて一気に稜線の縦走路 岩尾根・馬の背を通って妙法寺に下りて約2時間。

縦走路から 元気を取り戻した神戸の街 そして変貌するわが街神戸山麓バイパス界限 そして 明石大橋から神戸空港埋立地を久しぶりに眺めました。



わが街 山麓バイパス妙法寺・若草町界限



明石海峡・明石大橋

須磨アルプスより 2003.12.17.

札幌藻岩山を毎日歩く人を見てうらやましく思いましたが、家のすぐ南にもこんな山あり。

家内からは「肥満防止にのぼれ」と急き立てられています。

神戸は今阪神大震災のモニュメント月間。暮れの神戸ルミナリエに出掛けて あの震災の記憶が みんな全く薄らいでいないのにビックリ。

1995.1.17.今年には神戸にいますので 平和への祈りを重ねて震災の祈りに参加するつもり



須磨アルプスより 神戸市街地 全景



2004.1.15. by M. Nakanishi

東京六本木ヒルズ (66ビル群) 2003.12.5.

2003.1.8. 東京 六本木ヒルズ を紹介してくれた友達への返信メールより



昨年 12 月 東京へ行ったついでに 何かと話題の多い六本木ヒルズ 通称六本木六丁目ビル群(66 ビル)を見に行きました。クリスマスに近い夕方 多くの人でにぎわっていました。

地下鉄の階段にはこの地下でもインターネットがそのまま使えるハートを横にした「インテル」マークが並んでいる。この界限 IT ビジネス・情報通信・マスコミ・放送など新しいビジネスの集積地。「東京を変える 日本を変える」といわれている。

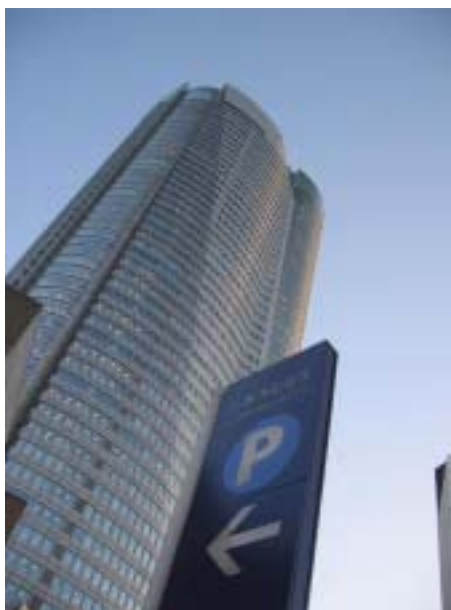
昨年完成した東京の高層ビル群と同じく 66 ビルの建設には私の会社の溶接材料も他社の材料と共に使われていまして、その材料展開には苦労しました。

一連のこれら高層ビル群建設に 軽量化が可能な強度の高い新鋼材(高降伏点高靱性鋼)が使われ、特に耐震性に対する配慮から、溶接部にも高いねばさ(靱性)と強度が要求され、新しく開発された高強度高靱性溶接材料が大量に、このビル群建設に使われました。

そんな関係で 汐留・品川・丸の内・大崎のビル群 気になって完成したら見に出かけ そして その一連の高層ビル群の最後が66ビル。どのビルも天を貫く大きさと美しさに見とれ、その華やかさに眼を奪われるのですが、「2003 年問題」として巷でささやかれてきた周りとの調和がいつも帰る時には頭をよぎります。

まあ、そんな意味からするとこの 66 ビルはそんな不安感の頂点のビルか…………… こんな考え方 時代遅れなのでしょうが……………

突如出現した巨大ビル いったんその中に入るとなんでもできるし、人があふれ 凄い賑わい。新ビル群が目指しているようにまさに 新しい街が出現した。ビルの中に 街並とともに人工の自然空間が作られ、熱気にあ



ふれている。

印象としては これは パビリオン ラスベガスの砂漠の町に突如したパビリオン ビル群ではないか・・・・・・・・

一度中に入れば 逆に外へ出さないようにするような内部のわかりにくさ。

迷路ではないが、外へ脱出しようとした時のわかり難さ。むしろ 外へ出にくくしている節も感じる。

独立・孤立 周辺との調和のない街づくり。ビルの中では 『やさしさも 人間味』を歌うが、外界をシャットアウトした独立・孤立主義 外に出ると冷たい風が吹く・・・・・・・・日本人の一番好きで それでいて 一番批判している 『村社会』の匂いを感じています。

外をシャットアウトした冷たさ ある種の関西人が東京に抱くイメージか・・・・・・・・

スーパーマーケット・マクド 銀行 そして シリコンバレー型 IT ビジネス など アメリカ型のビジネスモデルを競い、瞬間・瞬間のスピードで成功を鼓舞しているあいだに、50年・100年のスパンではみんな奈落の底を体現。新しいビジネスモデルを求めて もがいている。

成功が大きければ 大きいほど 回りに及ぼした影響は大きい。決して 自分だけでとどまらぬと。

東京にできた新高層ビル群の街になにか 新しいソフトが持ち込まれ、これらの街がセンターとなって 外への広がりのある街づくりの巨星にならないのか・・と。

そんなこと考えながら 見上げた東京タワー。非常にシンプルながら 暖かい 『赤』の照明に感動しました。

まあ 年老いた為に感じるさびしさか・・とも感じますが、何か違うとビル群を見上げました。

ずっと感じてきた東京新高層ビル群についての期待と後ろめたさそんなことを感じるまま書き連ねました。



2003.1.8. 東京 六本木ヒルズ を紹介してくれた友達への返信メールより
Mutsu. Nakanishi

Nさんが紹介してくれた 66 ビルの図書館・サロンが自己主張せず、地道にそんな輪につながるといいですね・・・・・・・・ 友達が紹介してくれた 66 ビルが始めた新しい息吹

東京にはなかった新しい空間 民間が行政の分野に踏み込む新しいソフト空間 必要かもしれませんが新しい社会を築いてゆく原動力かも知れません。

でも それは 『平和と調和』があつてこそ・・・・・・・・・・・・・・・・

友達がくれた 66 ビルの新ビジネスの概要 下記 友達のメールから紹介

大学の山仲間 N氏 のメールより (抜粋 整理)

- > 新年早々、新しい話題を提供したいと思います。
- >
- > 所は東京都心の六本木に、巨大な森タワーに代表される 六本木ヒルズ。凄い人気を博し、大勢の人で満ちあふれています。
- > しかし、この喧噪とは、まるで別の静寂な世界が、この巨大ビルの中にあります。
- >
- > 最上階に近い49階にある アカデミーヒルズです。そこに、新しい考え方で作られた図書館があります。
- > でも、普通の図書館と全く違うのです。
- > 昨年末、見学の機会を得ましたので、見聞したところを記しましょう。
- >
- > 第一の特長は、会員制です。二種類ある会員のどちらかに、会費を払ってないと、この図書館は使えません。設置・経営体である森ビル(文化事業部が担当)の収益源は、この会費です。
- > 会員には、図書館の全域を使え、中でも、利用時には専用となるオフィスなどを利用できるオフィスメンバーと、そうでない コミュニティメンバーがあります。
- >
- > 前者は、年中どの日でも、24時間使えます。五人まで受け入れ可能な応接室も使えます。そうしたことを支える設備と体制が 取られているのです。その分、会費は高く、入会金が三十万円で、月々の会費が六万円必要です。
- > 後者は、利用出来る空間や設備が限定され、時間も朝8時から夜11時まで限られますが、入会金は一万円で月々の会費は六千円です。中に、ライブラリーカフェがあります。
- >
- > また、同じ階にある六本木フォーラムには、大中小の会議室やホールがありますが、図書館(六本木ライブラリー)の会員は 自ら主催する会議などに使えます。料金は必要です。
- >
- > もっとも、こうした有料図書館というコンセプトは、公立の図書館には受け入れがたいものであるらしく、> とうとうたる非難が寄せられていると伺いました。
- > 曰く、図書館は、公平、無作別、無料公開であるべきだと言うわけです。
- > 一方、見学して、目から鱗が落ちたという、公立の方の 感想もあるそうです。
- >
- > 民間企業が、寄付ではなく、自ら設置して有料で運営する図書館というものが、世界で初めて、日本に登場したと言うのは、この国の独創性に
- > 新たな光りが差し込んできたような 感じすら受けます。
- > 批判も大切ですが、建設的な思考や取り組みは、それよりまして大事なように思います。

以上 2004.1.8. N氏からのメール 抜粋

2004.1.8. Mutsu Nakanishi

最近の6本木ビル回転ドアやトラック脱輪事故対処に思う

自動車学校の教育訓練とあわせて

最近の痛ましい事故 トラックの脱輪事故 そして 6本木ビルの回転ドア そして 鳥インフルエンザ
「同じ類例あった。 兆候あった。 会社は隠した。」と毎度お決まりの責任追及と責任のなすりあい。
いつものパターン繰り返し。マスコミなど正義感よろしく無責任な責任追及の急先鋒。
でも、 これどこか おかしい。

「兆候が出た時 類型が出た時に なぜ 日本では 安全改善・危険防止の処置に動かないのか」
「なぜ 効率・当座の利益に負け、 責任回避 最大公約数サイドに傾くのか」
この行動判断を断ち切る教育 インパクトこそが 原因究明と同じぐらい大事なのですが・・・・・・
原因は日本の村社会の発想・横暴の多数決・

赤信号 みんなが 渡れば怖くない式の判断 を断ち切らないと。

多数意見が 「X」とダメだしであっても、 少数意見であっても

「チェック・採用」へ踏み込んでいく勇気とそれを認める風土を作らないと変わらない。

特に 最近の管理判断は益々 事なかれ主義 多数派の中に埋没していないでしょうか

この絵 どう見えますでしょうか・・・・・・・・・・・・・・・・



おばあさん??? 美しい美女???? さあ どうでしょうか・・・・

もう10年も前に 某半導体メーカーとビッグな共同開発のスタート時に集まったメンバーに出された問題
どちらにも 見えるのですが、自分のその時の気持ち 周りの人の雑音でどちらかに強く引かれる。
冷静に同じウエイトでどちらの顔も見よう努力をしないと・・・また、隠れている顔を見抜く努力を。。といわれた。

私はこの絵知っていても いまだに 一瞬は一方の顔しか見えぬ。

どうも どっぷりとひとつの風土の中につかると隠れた顔が見えぬ。
先の問題もこんな中 日本人の風土の中に潜んだ問題なのではないか・・・
そのための訓練 風土醸成と共に隠れた顔があるとの認識をしっかりと行動パターンに植え付けることが大事
とつくづく思っています。

- 老いの習いでいった自動車教習所が安全運転の教育・訓練でこれを教えている。
そんな感じがしてならないので、ちょっと紹介します。

何時現目だったか 指導員からの質問 「事故を起さんためには なにが必要ですか・・・」
「教科書的には交通ルールと認知・判断・操作の技量そして自動車の性能や」と答る。

「50点や 肝心の事 抜けてる」と・・・指導員に言われました。
「う・・・ん 何が抜けとんねん・・・」とみんなだまっしてしまいましたが。。。

ちょっと 時間を置いて指導員
「危険予知の訓練と能力
たとえ見えてなくても 次に何がおこるかを予測し、対処する行動を起しておく。
重要なのは 同じパターンの認識と行動を叩き込む事 安全への意思判断行動だ。」
これが残りの50点と

うなっていました。指導員の言うのが正解。 すっかりうれしくなっていました。

「その場になれば 出来る」と思っているのですが、やっぱり駄目ですね。
路上運転教育なんて、まさにその判断実践と行動訓練の連続。
その根底にあるのが、徹底した「弱者保護」と「自分勝手に許さぬ円滑な交通」の判断理念
いやになるほど失敗しました・・・
最大公約数的判断も大事ですが、ルーツ対処 一次防災から二次防災まで
自己完結型の判断力とはっきりとした理念に根ざした行動の実践教育の重要性がかねてより気になっていま
す。
自動車教習所なんて・・・と軽んじてきましたが、その中味の実践教育は 今日本の中で失われつつある行
動パターンの植付けではないでしょうか。。。
先の痛ましい問題の対処パターンも根は同じと思っています。

会社で開発のメンバー 現場ラインで 「予知して考えよ 予知能力つける ルーツを考えよ」 「だれで
も判る予知管理」「具体的な予知・数値把握を」
とよく言っていました。 「行動実践のパターン実践訓練」を付け加えねば・・・と思っています。
そういえば 責任回避は行動を避ける典型。
アメリカや欧州で良くやる行動形式 「アセスメント」また 「予知訓練とルーツ対処のインパクト」 「iso
認定」も同じですが、最も重要と覚えてきます。
日本流の行動パターン脱皮しないと 益々変な世の中になりそうに思えて仕方なし。
さあ どうでしょうか・・・・・・・・・・・・・・・・
また ブツブツ です

太平洋側の里山傾斜地に咲くカタクリの花
「氷河期の生き残り」って知ってますか???

今 地球の温暖化が恐怖をもって話されていますが、今から約 6000 年前 「縄文の海進」と呼ばれる今より数度温度の高い時代があり、海面が今より数メートル高かったと云われています。

この「縄文の海進」以外にも日本列島は気象変化の激しい所。四季が形成されたばかりでなく、今までよりさらに温暖だった時代や逆に寒かった時代があり、この気候変化によってさまざまな日本の営みがあった事を「縄文の海進」を調べていて知りました。

知らなかった事いろいろ知りましたのでちょっと・・・・・・・・

- 太平洋側の里山傾斜地に咲くカタクリの花 「氷河期の生き残り」って 知っていますか???
- 関東平野も大阪平野も 6000 年前は海や低湿地 そんな昔の海岸線知ってますか・・・・・・・・
- 平安時代の貴族の家 あんなスケスケでも暖かかった
でも 疫病が流行して遷都 これが京都の始まり
逆に江戸時代は寒くて天明の飢饉などが起こりました

地球温暖化の未来シュミレーションまた今後の対応のヒントになるかも・・・・・・・・

日本沈没がささやかれています、どうなることやら・・・・・・・・

1. 太平洋側 里山の北傾斜地に咲く「カタクリの花」 これは氷河期の生き残り????

「カタクリ」は元来 日本海側多雪地域の里山で雪解けを待ちかねて美しい花をつける。

この雪国の植物が温暖な地域でも見かけるようになったのはわけがある。

寒冷化した氷河期に寒さを避けて雪国から関東以西の太平洋側低地にまで南下。

それが氷河期が終わって温暖化するとカタクリにとっては暑すぎ、一部は北国に帰り、一部は涼しい山地へ。また、低地に残ったものは北向きの斜面で涼しく地下水がじわじわしみだす夏涼しいところ丘陵地の崖下などでひっそり生きている。氷河期の生きた化石 カタクリが涼しい丘陵地の北斜面で場所ひっそり風に身を揺らしている姿はたまらない魅力なのですが、こんな生活の知恵によるとつゆしらず・・・・・・・・

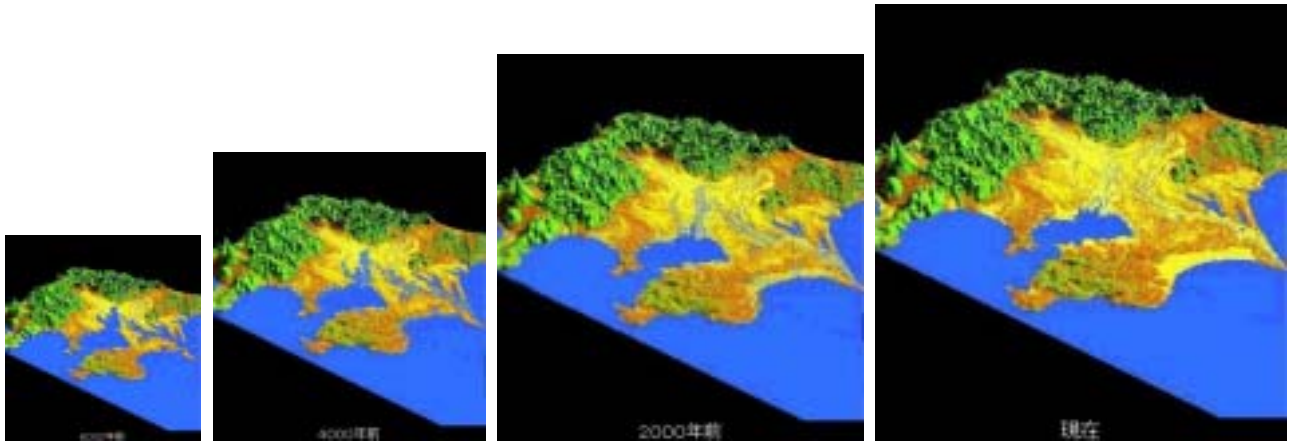
近頃 群生地がどんどんへっているのも これまた新しい環境の変化か・・・・・・・・



2. 縄文の海進 関東平野も大阪平野も 6000 年前は海や低湿地

そんな昔の海岸線知ってますか・・・・・・・・

地球はかつて何度となく寒冷化と温暖化を繰り返しかえし、日本アルプスにカールとして氷河の跡が残されています。でも、ヨーロッパのように日本列島全体が氷河に覆われ、すべての生物が絶滅すると言ったような事はなく、寒冷の時代でも夏には緑があふれ、花が咲き、多くの生物が日本列島にやってきたといわれています。



6000 年前 4000 年前 2000 年前 現 在

縄文の海進とその後の冷涼化・沖積平野の形成による日本列島の形成【1】

国土地理院シュミレーションデータアレンジ インターネットより



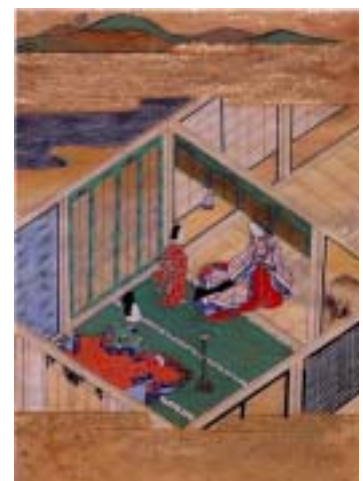
6000 年前 4000 年前 2000 年前 5 世紀・1500 年前 現 在

縄文の海進とその後の冷涼化・沖積平野の形成による日本列島の形成【2】

<http://www80.sakura.ne.jp/~agua/index.html> より

3. 平安時代 貴族はあんなスケスケの家でも暖かかった!!!

でも 疫病が流行して遷都 これが京都の始まり



平安時代 あの貴族の邸宅は なぜあんなにスケスケなのか? 寒くはなかったのか????

8-1 3世紀は中世温暖期と呼ばれる温暖な時期。平安時代の花見の時期も1週間ほど室町時代より早かったという。

この温暖化は大洪水・疫病の流行を招き、平安時代は「怨霊」の時代といわれるが、その原因もこの温暖化が原因という。桓武天皇の平安遷都も「怨霊」をおそれたためといわれる。

時代劇で見る江戸の町には雪が似合う でも寒くて 天保の大飢饉が起こった



一方 室町・江戸時代になると冷涼化が進む。時代劇といえば、コガラシ吹いて 雪の景色のイメージが似合います。

でも江戸時代には寒冷・大洪水の連続 宝暦・天明・天保の大飢饉が起こって……

これも 間氷河期の中の現象

今は温暖化が進んでいますが、自然現象に環境破壊が加わって……。

一体どうなるのか……

by M. Nakanishi 2004.4.29.

6.

三菱自動車 欠陥問題 パッシング 2004.7.1.

なにか おかしいと感じませんか……

この6月 1ヶ月 三菱自動車の欠陥車問題がセンセーショナルにパッシングが続いています。品質問題について 行政も他の自動車メーカーもみんな 手のひらを返したようなパッシング。同じ事が社内の技術現場でもおきているのだろう。

でも、毎度の事ながら パッシングしている他のメーカーも 行政もする事一杯あると思うのですが……。

なぜ ISO の品質システム 一番クレーム対応に敏感なこのシステムが動かないのか……

また 認証・QA は ??????

業界・国土交通省パッシングするばかりで、マスコミも含め、なぜ原因と結果についてクリアーな説明がされないのか……車の安全・品質という課題において パッシングではなく、当事者側ではないのか……

日本の村社会の典型 エスケープゴートを作って ほかを隠す。パッシングをしている強気の発言も裏返すとその裏にはたくさんの隠された問題があるとかんぐらざるを得ない。

トップメーカーはなぜ業界として助けの手を差し伸べないのか……

官庁とも技術も一番近い所にいるのに……

パッシングは強烈であるが、問題解明については何か 歯切れが悪い。

次々と三菱の欠陥が個別にほじくられている。

本当に三菱の車に限られた車の問題だけののだろうか……

もっと本質的な大型トラック全体にかかわるのではないか……

トラックというと直ぐ頭に浮かぶのは過積載の問題が浮かぶ。

何とか 三菱の車を場外にほりだし、沈静化させることをねらっているのか……

毎度繰り返される後手後手の官民一体となつての弱者切捨てのご都合主義の手法

メジャー・体制側と少数派の戦いのような気がして、三菱を応援したくもなる。もっとも 三菱にも本件が抜き差しならなくなるまで メジャー・体制側の論理の中で生きてきたと思いますが。

「品質・安全問題の取組を見れば 会社の姿勢が見える」と良く言ってきましたが、中味の議論と指導性のない口先だけの「安全第一」「品質重視」「顧客満足」

一番本質的中身・具体的な対応が生かされねばならぬ時代に リストラの進行で素人経営 掛け声だけにな

っているのでは・・・

指導者層の理念のなさ・貧困が本当に目につく時代となりました。

昔私が経験した同じような欠陥問題 某海外メーカーの妥協無き対応と徹底した指導。

日本的対応とあまりにも差のある凄い対処を日本で品質・ユーザー対応の話を知るといつも思い出します。

社内も含め四面楚歌の中 解決は妥協無きルーツ原因とその対策そして徹底した防止対策のチェック。

その厳しさと理念・思想の強さにほんとうに泣きましたが、この指導性には何度も助けられると共に、日本メーカーの社内の考え方弱さがいつも頭にありました。

現場で働く三菱の技術仲間に 「周りにとらわれず、頑張れ 個別処理と共に本質問題を早くつづせ」 と
つついイーールを送りたくなる。

現場主義の大事さ 本当にその中味を今生かさないと日本の物づくりも つぶされてしまう。

イタリア ルネッサンスで訪ねたフィレンツェで ルネッサンスを引っ張ったレオナルド・ダ・ヴィンチ。
に建築にそして彼の発明・発見の多さ いずれもその一級の巨人ぶり。

その根底に徹底した 科学的眼と現場体験実証主義の生き様 現代に通ずる事を知りました。

「知恵は経験の娘。ただ 想像だけによって

自然と人間との間の通訳者たらんと欲した芸術家連を信じるな」

「自然の不可思議の通訳者は経験である。

自然は原因をもって始まり、実験をもって終わるが、

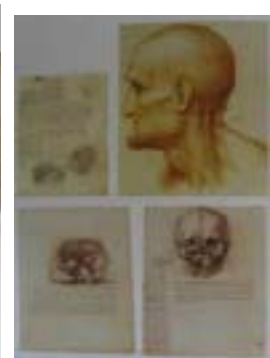
我々はその反対をとらねばならない。

我々は実験をもって始まり、

実験をもって 原因を探求しなければならない。

そこから、経験と相談しつつ、一般規則を引き出せる」

----- レオナルド・ダ・ヴィンチ



先日 家内とふたりでアメリカ映画「パッション」を見ました。

キリストが密告により訴えられ、十字架にかかる一日を聖書の記述に基づいて制作されたという。

もう スタートから終りまで、キリストひとりが身体的危害を受け続ける。

アメリカで賛否喧喧諤諤だった映画。どちらか言うと最近 日本映画のやさしい映画しか見ない僕にはきつい。行こうという家内に教えたのですが、結局見ました。

もう 本当に 耐えられるか・・・とおもっていましたが、迫力の中 息呑むのも忘れてみました。

耐え続けながら語るキリストの言葉のみがラテン語で字幕

本当にしんどくて街で休憩して帰りましたが、なにかさわやかな気持ちがあるのを感じて我ながらビックリでした。

三菱の技術現場 耐えて 頑張ってください

2004.7.1.

Mutsu Nakanishi

7.

北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」 2004.9.5.



北海道 宗谷 猿払村 道の駅「さるふつ」にある帆立貝の化石と「いさりの碑」 2004.8.1.

北海道 花の美しさもさることながら、この夏 宗谷 猿払村で見た「海の開拓宣言」の格調の高さには感激。「2004 夏 花の北海道 WALK」にも入れましたが、理念の重要性とその理念に基づく実践の確かさにビックリし、金融・政治・工業界において 今「口先」だけの対応が横行する中 プロの対応とは何かを見せられたような気がしたので、ちょっと御紹介します。

ちょうど 私たちと同じ世代の生き様のひとつ どう 感じられるでしょうか・・・

北海道 宗谷 猿払村 海の開拓宣言「いさりの碑」



いさりの碑

帆立貝漁場は成業10周年に當り猿払の漁業のうつりかへりを振り返りて見る。我々の先人がオホーツクの海の魚介類に生活の糧を求めたのは明治の初めのことだ。それから一世紀になんなんとしている。春 4月5日 鯨の群来で海は乳白色になり獲っても獲ってもなくなってしまうと思われた。鮭鱒は海の荒くれ男と力比べをするように網もさけよとばかり来網した。海扇と呼ばれた帆立貝は海の底に幾層にも重なり合っているのではないかと錯覚を起こさせる位生棲していた。しかし之等の生命の運命も貪欲な人間の前には所詮は滅亡の運命が待ち受けていた。今日ではあらゆる資源は有限であることが認識されている。しかし生物資源は自然と人間の適正な育成管理によって永続させることができる筈だ。私達も自然の摂理にかなった生物資源の育成管理を科学的に調査と陣地をあつめてやつてみた。春夏秋冬 自然の摂理は一世紀の昔も今と変わりなく繰り返され生物の生命力は見事に部族と氏族の反映に其の力強さを見せてくれた。今 オホーツクの海は先人の開拓した時のように帆立貝が見事に結実してたわわな実をみせている。鮭鱒もまたまもなくふ化事業の結実を見せようとしている。猿払の海を拓いた多くの先人の苦勞と偉業をしのび其の石を我々も子孫もうけつぎそして実践することを肝に銘じ 今此の碑を立てる

人間は神々と力を競うべきでない
人間は自然の摂理に従うべきだ

昭和56年11月22日
猿払村漁業協同組合

我々の先人はオホーツクの海の魚介類に生活の糧を求めたのは明治の初めのことだ。
それから一世紀になんなんとしている。

春 4月5日 鯨の群来で海は乳白色になり獲っても獲ってもなくなってしまうと思われた。
鮭鱒は海の荒くれ男と力比べをするように網もさけよとばかり来網した
海扇と呼ばれた帆立貝は海の底に幾層にも重なり合っているのではないかと錯覚を起こさせる位生棲していた。

しかし之等の生命の運命も貪欲な人間の前には所詮は滅亡の運命が待ち受けていた。
今日ではあらゆる資源は有限であることが認識されている。

しかし 生物資源は自然と人間の適正な育成管理によって永続させることができる筈だ。
私達も自然の摂理にかなった生物資源の育成管理を科学的に調査と陣地をあつめてやつてみた。

春夏秋冬 自然の摂理は一世紀の昔も今と変わりなく繰り返され生物の生命力は見事に部族と氏族の反映に其の力強さを見せてくれた

今 オホーツクの海は先人の開拓した時のように帆立貝が見事に結実してたわわな実をみせている 鮭鱒もまたまもなくふ化事業の結実を見せようとしている

猿払の海を拓いた多くの先人の苦勞と偉業をしのび其の石を我々も子孫もうけつぎそして実践することを肝に銘じ 今此の碑を立てる

人間は神々と力をきそうべきでない
人間は自然の摂理にしたがうべきだ

昭和 56 年 11 月 22 日
1981.11.22.

猿払村漁業協同組合

注 1980年代は高度成長の真っ只中 1986年から1989年4年間はバブル時代

1980年代の日本は、世界でも有数の工業国として空前の豊かな社会を実現しました。

鉄鋼、家電製品、自動車やエレクトロニクスといった分野の輸出が大幅に伸び、日米で経済摩擦が起きるほどの貿易黒字をこの時代には計上しています。

昭和が終わった1989年を例にとると、この年の貿易黒字は640億ドル、国民総生産(GNP)も約420兆円と初の400兆円台に到達。1980年の290兆円から10年間で130兆円も増えています。

一方では、地球規模でさまざまな環境問題が深刻化し、中でも地球温暖化問題については1980年代後半から議論が開始され、1990年代から世界各国が協力して取り組むようになりました。

何も対策をしないと深刻なダメージを受けるおそれが現実化し始めた時代。

しかし、日本の世相は 1986 年から 1989 年 4 年間はバブル時代と呼ばれる日本が狂った時代でした。

20 世紀の大量生産、大量消費の時代から、21 世紀は地球環境優先への転換の時代 まだ世の中が浮かれている時代に 最北の北海道でこんな格調高い地球環境優先・共生の理念と実践が進んみ 現在も「日本一の帆立貝の猿払」として栽培漁業の先端に立っている。

金融・政治・工業界において 今「口先」だけの知能優先 実践・実学軽視の対応が横行する中 プロの対応とは何かを見せられた気がしています。

当時は自分も新しい事業開発に向かって必死であった時代

それがバブルだったのか 地道な発展だったのか・・・悩むところです

2004.8.1. 北海道 宗谷 猿払で

M. Nakanishi

大阪縄文塾 小山修三氏と佐藤洋一郎氏の対話

8.

縄文の森 火と農耕・森に火をいれる」を聞いて 2004.9.25.

縄文の森と知恵に スローライフを重ねて

自然に火をいれる 火をかけることが悪の時代 本当によいのでしょうか
中国地方で今イノシシが猛烈に増えている・・・なぜ だろう



今 街では厳しく野焼きが規制され、木々から落ちる枯葉も勝手に焼く事ができない。ビニール袋に入れてごみ収集車に出す。

また、自然保護の名目で一切の人の立ち入りも鳥獣の捕獲も厳しく制限されている。

「人の文化・発展は火の文化」と思ってきましたが、火にふれる機会が非常に少なくなっている。

子供たちは自分で火を起こすことも火を使いこなすこともできない。

「ガス栓をひねれば・・・電気のスイッチをひねれば・・・」である。

「火を使いこなし、管理する」ここから多くの技術が生まれ、文化が育まれた。

自然に火をいれる。 火を使う。 これらは 人間社会再生の基本ではないのか・・・

それが今 退化しつつあり、いずれ大きなしっぺ返しをくらうだろうと言われている。

同じようなことは、「物づくり」技術の中でも起こっており、いろんな局面でこんな場面に遭遇する。

社会の成熟化の中で「高度情報化文化の街の生活」に対して「スローライフの生活」に多くの人の視線が注がれて 社会全体の転換点に差し掛かっている。

「そんなもの 物好きな・・・」と笑い飛ばしてはられない・・・



山の斜面の焼畑 焼畑農業で形成された畑の実り(インターネットから採取)

9月22日 大阪縄文塾(山内丸山縄文発信の会)の会合でがあつた。

「自然に火を入れる 火をかけることが悪とされる時代 これが本当にいいのか・・・」と警鐘を鳴らされた。面白かったので紹介します。

小山修三氏と佐藤洋一郎氏の対話「縄文の森 火と農耕・森に火をいれる」より
2004.9.22. 大阪縄文塾(山内丸山縄文発信の会)で

焼畑に対して水耕田 ともすれば焼畑は未開・自然破壊の象徴と我々には映る
でも 10~20年の周期でまわす焼畑。 10年20年ほって置かれる荒地は無用の土地か・・・
そうではなく、ここからは主食は得られないが雑草・雑木がそだち、薬草を取り、木の実・きのこほか さまざまな恵みが得られ、また、そこを目指して動物がやってくる。
森を焼き尽くすのでなく、森を管理し火を放てば新芽が育ち、フレッシュな明るい森の環境が再生する。
食物連鎖の頂点にいる人間にとって実に良い生活の知恵・恵みを与えてくれる場所ではなかったか・・・。
主食としての稲のみに眼を奪われてはならぬという。
トータルで考えると必ずしも焼畑が非能率であるといえぬと・・・
そもそも人が住めるのは縄文の昔から 森林のまっただ中ではない。森の縁/荒地・草地/雑木林そして集落が一体
で人のすめる環境が出来た。
その最初は噴火・落雷など自然の中に火が入って出来たところに人が入り、今度は人が火を使って自然環境を管理
維持しながら、荒地から栽培植物・二次林を育て、生活を発展させてきたという。ドイツには素晴らしい森がある
が、これも産業革命による大量伐採による荒地の中から 再生 出来上がった森という。
人の入らぬ里山は危ない。最近 里山が荒れている。
また、人をシャットアウトすることが自然保護 自然遺産という。
でもそれは違うのではないか・・・と。 昔々おじいさんは 芝刈りに・・・である。



焼畑農業



山焼き インターネットより採取

今 中国山地でイノシシが猛烈に増加しているという。

1960年～2000年に捕獲されたイノシシは兵庫で198539頭 山口で183001頭それ以前から比べると中国山地で激増しているという。(最も捕獲量で言うと鹿児島・宮崎・大分がビッグスリー)

その原因はなにか・・・ 中国山地での急激な過疎の進行と過度の鳥獣保護狩猟禁止が原因のひとつという。

長年にわたって管理維持してきた里山・草地・雑木林はイノシシ繁殖の格好の地 そこで、人が離れ、今イノシシ天国になっている。おまけに狩猟制限・食なし。天敵なしの保護。

もつとシシ鍋をたべねば・・・である。このままであれば、イノシシの繁殖はさらにつづくだろうと言われている。

人の作った里山・集落がいかに住みやすい環境であるか・・・の証拠。

また淘汰されない保護がもたらす弊害の進行である。

縄文の昔日本にも焼畑の時代があったろう。焼畑による陸稲の栽培から水田稲作へ
これにより 爆発する人口を支え 新しい知恵と文化も起こったが、失ったものも多い。
いま そんな眼で新しい視点を見る必要があるのでは・・・

「人間再生・転生の知恵」

話をききながら 今 もてはやされているスローライフの生活の意味を考えていました。

こんな話を聞いて 数日後 朝日新聞に同じ意のこんな記事(抜粋)がありました。

朝日新聞 「私と環境」秋道智彌氏 より 抜粋

田んぼが色づく季節となった。日本の田んぼはかつて森や原野。それを人間が水田に変えた。
カエルやドジョウやトンボが新たな住人となり、畦には色々な雑草も登場する。
カエルの合唱 トンボの乱舞を含めた田んぼの景観を人工物と考える人はいない。
そんな田んぼの生き物や雑草が姿を消してしまった。
自然を取り戻したい。何をどう再生するのか 考えてみたい。
最初から人間の営みを含めて自然の再生や修復を考えてみることに私たちはあまりなれていないのでは
ないか
草地や二次林を半自然 二次的自然と呼ぶことがある。
日本の草地は野焼き放牧などを通じて維持されてきた。人間の介入が草地の生き物を生み、地域の暮らし
を存続させてきた。人間の賢明な攪乱こそが豊かな自然を創造してゆくという新しい自然観を提案したい

(朝日新聞「私と環境」秋道智彌氏 より 要約抜粋)

最近 風来坊的に色々なものに参加するのですが、感じたこと 二題

その一

「老後は趣味の世界で。。。。。」とはよく言いますが、そんな年代になつてきて、暇に任せて 色々な事に出かけています。

でも、趣味の会 いろんな知識が増えて それはそれで楽しいのですが、 ちょっと物足りず。

先日 山内丸山縄文の会の大阪「縄文塾」に参加して、ふっと気がつきました。

「外へ向いて 発信。広がる世界につながっている」との感覚がやっぱり一番ですね。。。。。

そんな目線で色々なものにかかわっていきたいと思っています。

吉野山 蔵王権現のすごいエネルギーと迫力 いろんな世界を認め合う「蔵王権現」神仏融合修験の世界もそんな感じと。。。

その二

先日九州への古代遺跡のツアーでの出来事

乗った鹿児島から宮崎への JR 特急が 約 10 分遅れて 駅前からでる路線バスに間に合わず。路線バス以降の計画メチャクチャに。。。

汽車の中から JR・バス会社に連絡取るも埒開かず。結局路線バスはだめ。次は一時間待たねばならぬ。

たった十分の想いがバス会社に向く。バス会社にいわく。

「こんな 特急 遅れのこと よくあるだろう 20 数名も乗り遅れ。

どないするか 危険予知もつとしておいて。。。」と。

でも 考えてみたら 危険予知 必要なのは どっち。。。。

「10 分の乗り継ぎ 遅れた場合の対処は。。。」

どうも 年寄り特有の「自己チュー」が 都会人の地方に対する「エゴ」か。。。。。。

タクシーに乗って ふっと我に帰って みんな笑いあったのですが。。。

自分も年寄りの自己チューの仲間入り 心せねば。。。

by M. Nakanishi 2004.11.5.